

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	青少年国際交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図ることを目的として、町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,443				
		(b) 予算現額	3,443				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,443				
	B. 執行済額		3,381				
	うち交付金充当額		2,704				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		98.2%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	交流事業派遣生徒数:10名	目標	(10名)	()	()	()	
		実績	10名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	本研修は10日間の日程でハワイで実施した。研修生である中学生10名は3日間のホームステイを体験しその後3日間のミドルスクールへの体験入学に参加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	交流事業派遣生徒数:10名	目標	(8名)	(10名)	()	()	(10名)
		実績		10名			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	国際交流本研修で、現地にて学んだことを地域や他児童生徒へ伝えることでお互い国際交流への興味や海外に対する意識が向上し、今後の国際社会へ対応しうる人材の育成。また、本研修で経験したことを生かし、町のリーダーとして積極的に地域行事へ参加するなど、それぞれに活躍する。その一貫として、結成した国際交流事業OB会の活動方針もきちんと整備され、年間をとおして活躍できるよう今後も活動展開を続ける。					

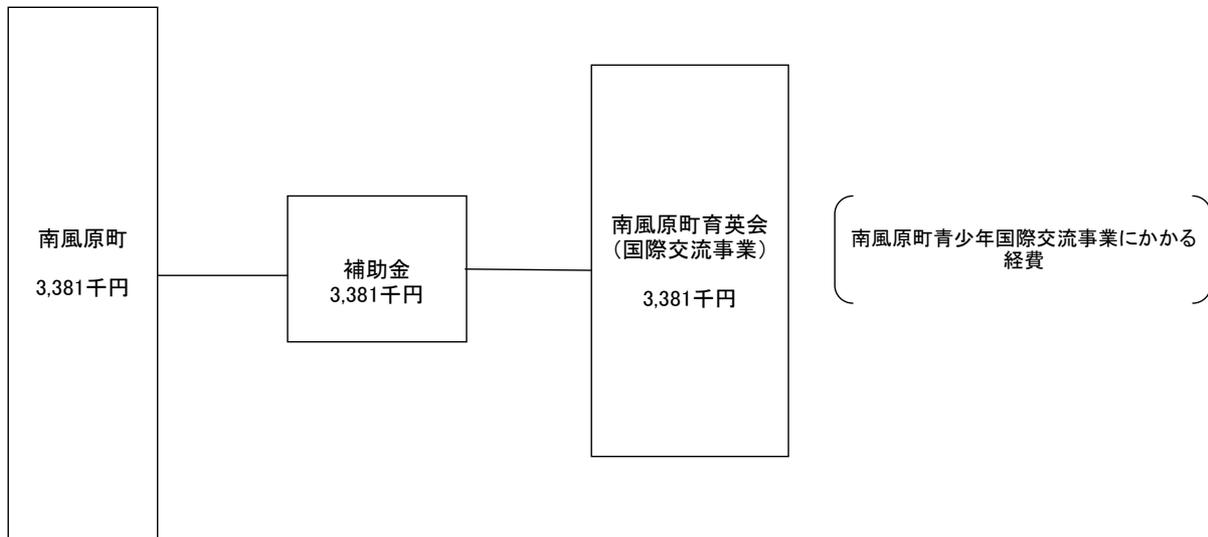
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町は国際交流により、派遣した児童が移民の歴史、海外の教育・文化・歴史産業、現地の方や県系人との関わりを学び、帰国後は、この経験を生かし国際社会について地域へ伝える役割も担っている。その一貫として、国際交流事業OB会を立ち上げるなど少しずつ活動を行っている。しかし、地域にて体験したことを生かす機会が少ない、また高校入学以降は勉学に集中するため行事への参加が厳しいなど、活動の展開が課題となっている。	帰国後、本研修での経験を生かせる場が地域ではとても少ないため、事後研修や人材育成として、今後につながるような行事や機会を展開する。そのひとつとして、国際交流事業の参加者からなるOB会の集結、および地域で国際交流を広める機会を増やす。そこで、本研修で終了ではなく、引き続き地域のリーダーとなるような人材へとサポートする。

今後の取り組み方針

本研修の充実、また事後研修の継続およびOB会としての意識を持つため、定期的に国際交流事業についての啓発活動や、地域で可能なイベントを企画していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,381	3,381	2,704	677	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業に必要な旅費、現地経費、謝礼金を要綱等や見積りにより、支出している。また、事業達成に必要な分の金額のみを支出し、妥当な額で実施している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	小学校英語指導助手配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 小学校のうちから英会話にふれさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させるために、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,800				
	(b) 予算現額	4,800				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	4,800				
	B. 執行済額	4,800				
	うち交付金充当額	3,840				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初の計画通り執行することができた					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		小学校英語指導助手配置数(4人)	目標 (4人)	()	()	()
	実績	4人				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	町内小学校4校全てに英語指導助手を配置することができた。配置することにより、小学校英語のカリキュラムを達成できた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
		小学校英語指導助手配置(4人)	目標	(4人)	(4人)	()	()
		実績		4人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	町内小学校4校全てに英語指導助手を配置することができた。配置することにより、小学校英語のカリキュラムを達成できた。又、英語について興味をもつことができた。次年度以降も指導助手を配置し児童の英語力の向上に努める。						

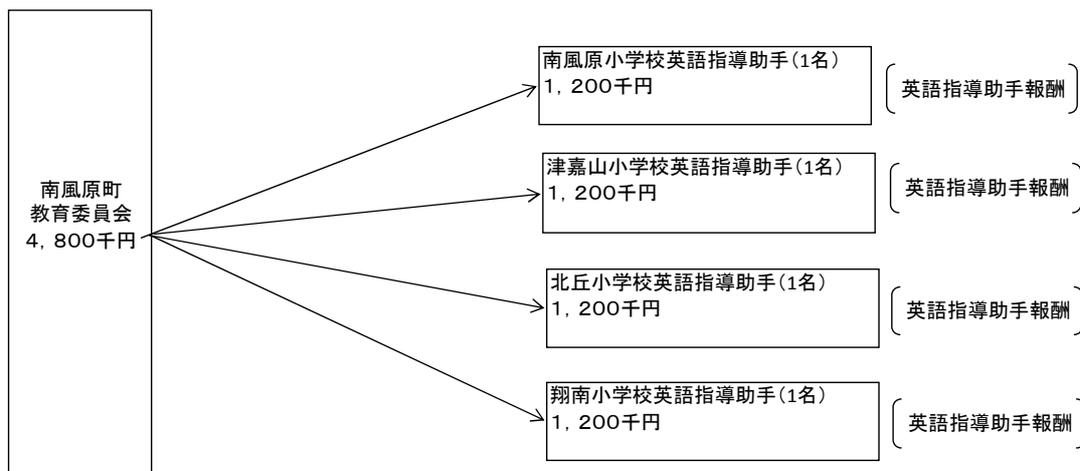
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・町内小学校4校全てに英語指導助手を配置したことで、活動目標・成果目標は達成されたが、外国の言語(英語)や文化について興味を持たせ英語力を向上させたかどうかの検証を研究授業(6年生・2校)の一環で、アンケートを実施した。その結果、95%の児童が、英語の授業は楽しいと答えた。 ・しかし恥ずかしがらずに英語を話せますか?、英語を進んで話そうとしていますか?の質問には約30%の児童が「いいえ」か「あまり話していない」との回答であった。 ・上記のアンケートの結果は、英語の授業に対して、苦手意識は無いが、実際、会話となると自信を持ってない児童が多いことがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、内容の英会話に自信を持って話せるよう、授業の内容を改善していく。 ・中学校外国人英語指導助手と連携し、中学校英語に抵抗なく移行できるよう、指導助手の交流研修をする。

今後の取り組み方針

- ・平成25年度も引き続き小学校4校に英語指導助手を配置する。
- ・進んで英語が話することができるよう、授業内容を改善していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,800	4,800	3,840	960	



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	学力調査等事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,478				
		(b) 予算現額	2,478				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,478				
	B. 執行済額		2,469				
	うち交付金充当額		1,975				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	標準学力調査の実施 小学校4校中4校・中学校2校中2校	目標	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	()	()	()	
		実績	小学校4校中4校 中学校2校中2校				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	標準学力調査(小学校4校中4校、中学校2校中2校)、全国学力・学習状況調査採点集計業務(4小学校中3校・2中学校中1校)を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	標準学力調査の実施 小学校4校中4校・中学校2校中2校	目標	(-)	(小4校中4校 中2校中2校)	()	()	(小4校中4校 中2校中2校)
		実績		小学校4校中4校 中学校2校中2校			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	標準学力調査、全国学力・学習状況調査採点集計をもとに個々の児童・生徒への指導ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学力調査の結果をもとに個々の児童生徒の学力向上に向け指導していく。	今後も同様に学力向上に向け学力調査の結果もとに児童生徒にあった指導をしていく。
今後の取り組み方針		
今後も個々の児童生徒の指導をしていくことで学力向上につなげていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,469	2,469	1,975	494	
<pre> graph LR A[南風原町 2,469千円] --> B[委託料 2,469千円] B --> C[東京書籍株式会社九州支社 943千円] B --> D[株式会社 学友館 1,526千円] C --- E[採点集計業務にかかる委託業務] D --- F[標準学力調査にかかる委託業務] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・費目・使途については、委託料として1教科に対しての受験者数、一人当たりの契約金額と受験者数の支出であることから適切である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,523					
		(b) 予算現額	8,523					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	8,523					
	B. 執行済額		7,411					
	うち交付金充当額		5,928					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		87.0%					
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	学習支援員配置数(小学校5人・中学校4人)	目標	(小学校5人・中学校4人)	()	()	()		
		実績	(小学校5人・中学校4人)					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	町内小中学校全てに学習支援員を配置することができた。※翔南小学校のみ2名配置							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	学習支援員配置(小学校5人・中学校4人)	目標	(小学校5人・中学校4人)	(小学校5人・中学校4人)	()	()	()	小学校5人・中学校4人
		実績		(小学校5人・中学校4人)				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	町内小中学校全てに学習支援員を配置することができた。授業に遅れがちな児童生徒が、進んで授業を受けるようになった。次年度以降も全小中学校に配置し、学力向上に努める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	24年度は小中学校全校に学習支援員を配置することに重点を置いた。	学習支援員を配置することで、南風原町の基礎学力が上がったかどうかを、客観的な指標から検証していく。
今後の取り組み方針		
引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		7,411	7,411	5,928	1,483	
<pre> graph LR A[南風原町教育委員会 7,411千円] --> B[小学校学習支援員(5名) 4,117千円] A --> C[中学校学習支援員(4名) 3,294千円] B --- D[臨時職員賃金] C --- E[臨時職員賃金] </pre>						

資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	特別支援教育補助員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,586					
		(b) 予算現額	16,586					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	16,586					
	B. 執行済額		9,940					
	うち交付金充当額		7,952					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		59.9%					
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	特別支援教育補助員配置数(小学校24名・中学校3名・幼稚園13名)	目標	(小学校24名・中学校3名・幼稚園13名)	()	()	()		
		実績	(小学校25名・中学校4名・幼稚園14名)					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	町内小中学校・幼稚園全てに特別支援教育補助員を配置することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	特別支援教育補助員配置数(小学校24名・中学校3名・幼稚園13名)	目標	(小学校24名・中学校4名・幼稚園6名)	(小学校24名・中学校3名・幼稚園13名)	()	()	()	(小学校24名・中学校3名・幼稚園13名)
		実績		(小学校25名・中学校4名・幼稚園14名)				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	()
		実績						
	進捗状況説明	町内小中学校・幼稚園全てに特別支援教育補助員を配置することができた。学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒も普通教室で授業を受けることができた。次年度以降も全小中学校に配置し、児童生徒の総合的な学力向上に努める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	24年度は小中学校全校に特別支援教育補助員を配置することに重点を置いた。	特別支援教育補助員を配置することで、南風原町の基礎学力が上がったかどうかを、客観的な指標から検証していく。
今後の取り組み方針		
引き続き全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、基礎学力向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	9,940	9,940	7,952	1,988	
<pre> graph LR A[南風原町教育委員会 9,940千円] --> B[小学校特別支援教育支援員(25名) 6,900千円] A --> C[中学校特別支援教育支援員(4名) 713千円] A --> D[幼稚園特別支援教育支援員(14名) 2,327千円] B --- E[臨時職員賃金] C --- F[臨時職員賃金] D --- G[臨時職員賃金] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥		学校ICT推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7	
	担当部課名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)
事業内容	町内の小中学校において電子黒板やデジタル教科書を整備し、教育の質向上による児童生徒の学力向上を図るため、ICT環境の充実を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	27,480				
	(b) 予算現額	25,520					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,960					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	25,520					
	B. 執行済額	25,520					
	うち交付金充当額	20,416					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初の計画通り執行することができた						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	電子黒板設置台数	目標	(22台)	()	()	()	
		実績	22台				
	デジタル教科書購入件数	目標	(60件)	()	()	()	
		実績	60件				
達成状況説明	【電子黒板】 小学校4校へ各4台、中学校2校へ各3台の電子黒板配置を行った。結果、小中学校において各学年へ1台～2台の配置が可能となった。 【デジタル教科書】 小学校48件、中学校12件のデジタル教科書を整備し、多くの授業でデジタル教科書を活用できるようになった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)	
		電子黒板導入率	目標 (【小】19%) (【中】16.5%)	(【小】38%) (【中】33%)	()	()	(100%)
	実績		【小】38% 【中】33%				
	【参考指標】 (電子黒板) 普通クラス 全教室 121学級	目標	(—)	(121学級)	()	()	(28年度のクラス数)
		実績		18学級 (24年度整備台数)			
	デジタル教科書導入率	目標	(【小】40%) (【中】71.4%)	(【小】80%) (【中】85.7%)	()	()	(100%)
実績			【小】80% 【中】85.7%				
進捗状況説明	小中学校において電子黒板を各学年へ1台～2台配置することが可能となった。小学校では各学年フロアへ電子黒板を配置し同フロアの教室間を可動するだけで利用できるようになり、電子黒板の準備作業が昨年度より軽減できた。中学校においても電子黒板を利用できる授業数を増やすことができた。さらにデジタル教科書を多くの教科で利用できるようになった。 デジタル教科書やデジタルコンテンツを電子黒板と併用して利用することにより、コンテンツの拡大・縮小、移動、さらには教科書等に実際に書き込みながら授業を行うなどの視覚効果を用いることで授業への集中力が増した。 今後も継続して電子黒板やデジタル教科書などの整備を行っていく。※デジタル教科書に関しては、教科書改定年度にあわせて100%整備を行う。						

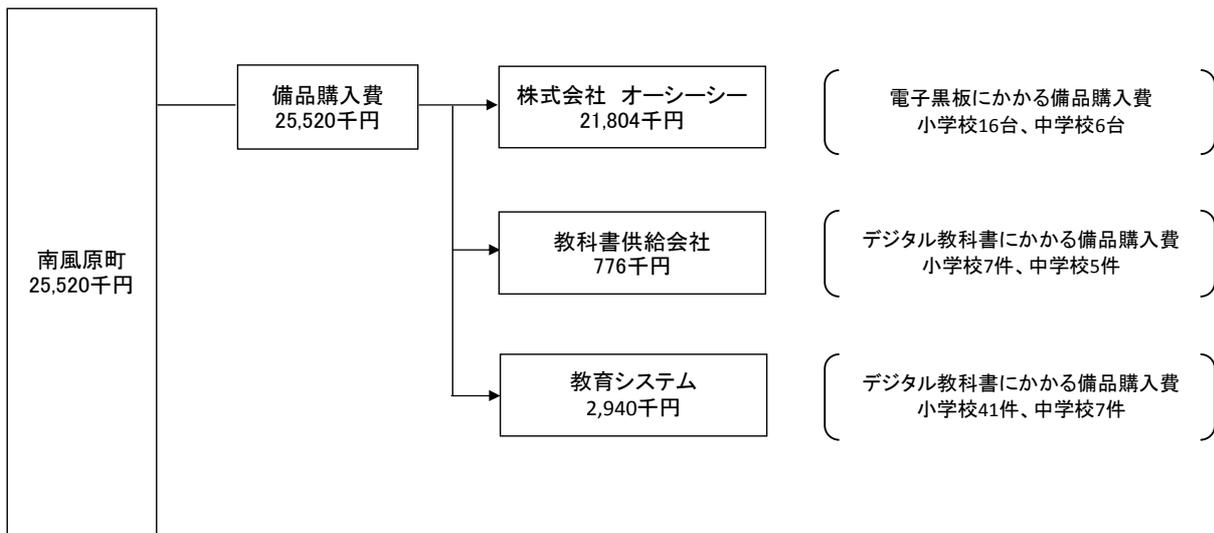
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	電子黒板に関して台数が少なく授業で利用できる時間に限りがある。さらに短い休み時間での電子黒板移動が大変である。	電子黒板を活用できる授業増や休み時間での移動負担軽減のため、電子黒板の台数を増やす必要がある。

今後の取り組み方針

平成28年度までの事業実施期間内に普通全教室へ電子黒板整備を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
25,520	25,520	20,416	5,104	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内で教科書供給会社のみ取り扱いの備品を除き、実績または県内で取り扱い可能な事業者を選定し、指名競争入札を行っており、選定方法および予算規模について、妥当であったと考えている。 ○購入した備品は、事業内容に記載した教育の質向上による児童生徒の学力向上を図るためのもので、費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	教育相談支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-イ	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,310				
		(b) 予算現額	2,310				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,310				
	B. 執行済額		1,983				
	うち交付金充当額		1,586				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		85.8%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・町教育相談員配置数：1人	目標	1人	()	()	()	
		実績	1人				
	・心の教室相談員配置数：2人	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
達成状況説明	中学校に教育相談員を1名、小学校に心の教室相談員を2名配置した。中学校に配置している教育相談員は相談業務の統括的役割も担っている。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	・町教育相談員配置数：1人	目標	—	1人	()	()	1人
		実績		1人			
	・心の教室相談員配置数：2人	目標	()	(2人)	()	()	2人
		実績		2人			
	進捗状況説明	目標のとおり配置することができたが、相談支援内容が複雑多様化している中、相談員を配置することで、児童生徒の心の居場所が確保でき、保護者の心の支えになった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	相談支援の性質上「教育相談員」と「心の教室相談員」の支援内容が重複することがある。	今後生徒校外指導員、登校支援サポーターと連携を密にし支援体制を強化していく。
今後の取り組み方針		
今後生徒校外指導員、登校支援サポーターと連携を密にし支援体制を強化していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,983	1,983	1,586	397	
<pre> graph LR A[南風原町教育委員会 1,983千円] --> B[教育相談員(1名) 630千円 (報酬)] A --> C[心の教室相談員2名) 1,353千円 (謝礼金)] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	中学校外国人英語指導助手配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,205				
		(b) 予算現額	2,205				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,205				
	B. 執行済額		2,205				
	うち交付金充当額		1,764				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・中学校英語指導助手配置数：1人	目標	1人	()	()	()	
		実績	1人				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	中学校（南星中学校）に英語指導助手を配置することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	・中学校英語指導助手配置数：1人	目標	—	1人	()	()	1人
		実績		1人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	目標のとおり配置することができ、ネイティブの英語を間近で聴き、異文化交流に興味をもつことができた。今後も引き続き配置し、英語力の向上に努める。					

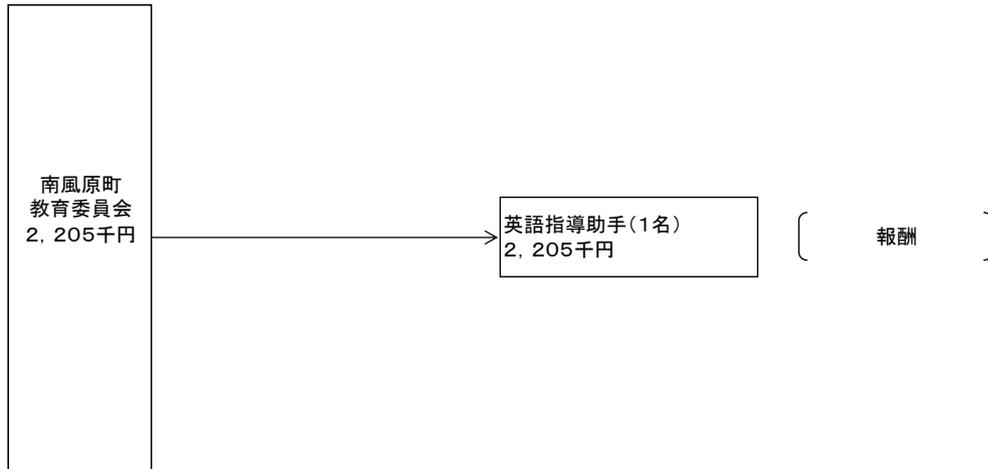
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	中学校英語で、生きた英語を学ぶために、英語の苦手意識をなくすよう、授業内容を工夫していく。	小学校英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。

今後の取り組み方針

今後も引き続き、外国人英語指導助手を配置し、小学校英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,205	2,205	1,764	441	



資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	地域観光まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	県内外へ観光地としての知名度を上げていく方策として、平成24年1月から12月まで、県の緊急雇用創出事業基金を活用し、観光協会設立に向けた推進室を町商工会内に設置しており、引き続き交付金を活用し事業を実施						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	1,767					
	(b) 予算現額	1,767					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	1,767					
	B. 執行済額	1,743					
	うち交付金充当額	1,394					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	98.6%					
予算の状況の説明	予定とおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光協会の設立準備	目標	(観光協会設立準備)	()	()	()	
		実績	観光協会設立準備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	法人に必要な規定などを定め、平成25年4月1日に一般社団法人南風原町観光協会の設立に向けた準備を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	観光協会の設立	目標	(-)	(観光協会設立 H25.4.1)	()	()	()
		実績		観光協会設立 H25.4.1			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成25年4月1日に一般社団法人南風原町観光協会が設立できた。南風原町と南部の観光に係わる情報等を一元化する協会ができ、観光客や南風原町民の情報発信が可能となった。					

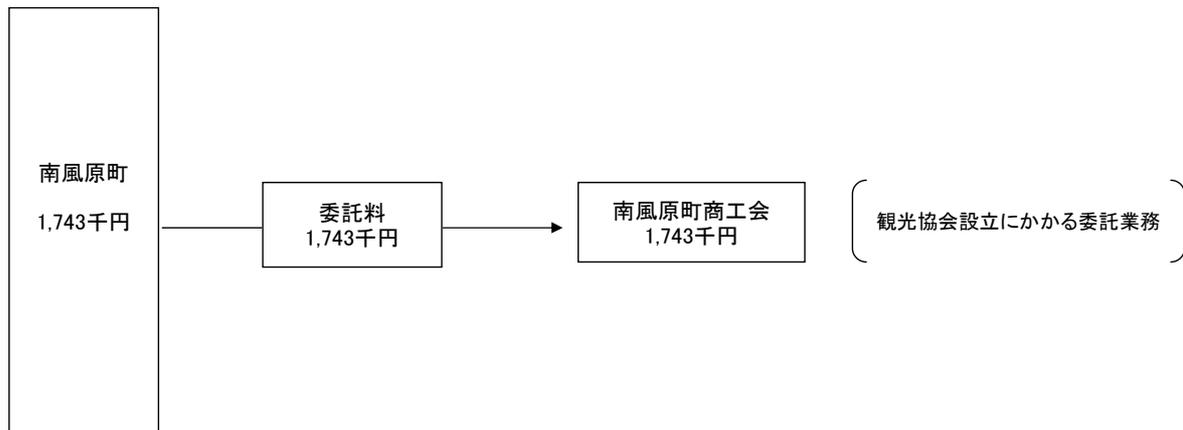
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光協会設立に必要な事項、書類、手続き等を、他市町村の事例等を調査し、南風原町民主体の観光協会の発足を旨とするため、観光協会準備会の会員の理解を得るための説明に時間がかかった。	他市町村の観光協会との交流と、調査を行い、書類等の問題をクリアにし、観光協会準備会も商工会、推進室、行政と一緒に取組むことにより、4月1日の設立に間に合った。

今後の取り組み方針

平成25年4月1日、念願の「一般社団法人南風原町観光協会」が多くの町民や商工会、行政等のもと設立された。観光は何もないと言われ続けてきた南風原町で、観光を進めていく上で「なければ探せ、それでもなければ作っていけ。」を合言葉に、町民、各種団体、行政と一緒に「豊かなふるさとをつくる事、ふるさとをどれだけ多くの人に知ってもらえるかにより、来ていただいて「ありがとう」と感動してもらおうようなビジネスにつながる観光をめざして、これからの事業に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,743	1,743	1,394	349	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>■観光協会の設立準備室である地域観光まちづくり推進室に委託したことにより、観光協会と地域が協働でまちづくりに参加することができた。</p> <p>■費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		南風原町観光景観美化整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
	担当部課名	経済建設部 都市整備課・まちづくり振興課		事業実施（予定）年度		平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容		南風原町は沖縄本島南部の中央に位置しており、古くから交通の要衝として発展してきた。沖縄県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂があり、環境整備に多額の費用がこれまでに掛かっている。沖縄振興特別措置法の観光地域形成促進地域指定では町全地域を観光地域形成促進地域と位置づけ、観光ルートの清掃、維持管理により繁茂を改善し、南部の交通網の拠点となっている本町の観光ルートをクリーンに保ち、町全体のイメージアップを図り、景観の長期的維持により観光立県沖縄に寄与する。また、町内の求職者を雇用することで雇用情勢の改善を図り、専用の車両も2台購入する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,600				
		(b) 予算現額	6,600				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,600				
	B. 執行済額		6,116				
	うち交付金充当額		4,892				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		92.7%				
予算の状況の説明		不要額が484千円発生しているが、資金の執行残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光ルート延長L=12,600m ・町道のメンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を恒常的に行う	目標	（ L=12,600m ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	L=12,600m				
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	町道のメンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を恒常的に行うことで、町内の観光ルートの環境美化がはかられた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	・観光ルート延長L=12600mの町道メンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を実施	目標	（ ）	（ L=12,600m ）	（ ）	（ ）	（ L=12,600m ）
		実績		L=12,600m			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
進捗状況説明	町道のメンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を恒常的に行うことで、町内の観光ルートの環境美化がはかられた。また次年度も同じルートの景観美化をはかっていく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町道のメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を恒常的に行うことで、例年以上に町内の観光ルート環境美化がはかられた。	作業車を導入したことにより、作業の効率化がはかられた。
今後の取り組み方針		
平成25年度以降は、更なる頻度による環境美化を行なっていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	6,116	6,116	4,892	1,224	
<pre> graph LR A[南風原町 6,116千円] --> B[賃金 4,471千円 (景観美化作業員 4人)] A --> C[車輛購入費 1,645千円 (作業車 2台)] </pre>					

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	●雇用者の賃金は町の基準に合わせて雇用していて適正と考える。 ●車輛購入に関しては入札を行ない、使用目的等を勘案した上での選定であり、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤		南風原町情報発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	総務部 総務課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町ホームページを2-③観光による地域産業活性化事業ともタイアップし、町をピーアールする動画配信や音声案内の導入、スマートフォン対応、GoogleMap対応などのリニューアルを行い、県内外への情報発信を強化する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,935					
		(b) 予算現額	2,935					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,935					
	B. 執行済額		2,930					
	うち交付金充当額		2,344					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.8%					
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光情報発信サイトのリニューアル ・FLASHの導入 ・スマートフォン対応 ・サイト内検索機能構築 ・電子書籍公開機能構築 ・GoogleMap対応 ・音声案内	目標	（リニューアルの実施）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	リニューアルの実施					
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績					
達成状況説明	町ホームページをリニューアルし、FLASHの導入、スマートフォン対応、サイト内検索機能構築、電子書籍公開機能構築、GoogleMap対応、音声案内等の機能強化を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	観光情報発信サイトのリニューアル ・FLASHの導入 ・スマートフォン対応 ・サイト内検索機能構築 ・電子書籍公開機能構築 ・GoogleMap対応 ・音声案内	目標	（未導入）	（リニューアルの実施）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		リニューアルの実施				
	進捗状況説明	観光情報発信サイトの機能強化を行うことにより、情報発信が強化され、観光面の振興を図ることができる。また、スマートフォンやGoogleMapへの対応は、観光客が南風原町を訪れた際、町内を散策できるツールとなる。						

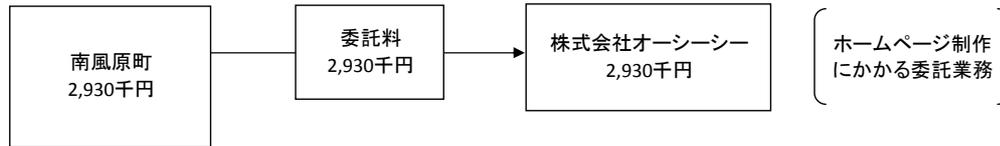
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ホームページのリニューアル・機能強化を行うだけでなく、情報発信していくコンテンツ(内容)も充実させていく必要がある。	町観光協会等の機関と連携し、町をピーアールできる情報を発信する。

今後の取り組み方針

○観光振興につながるような情報を発信していく。
 ○また、ホームページのアクセス件数を解析し、リニューアルの効果を検証する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,930	2,930	2,344	586	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により提案内容、企業組織、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

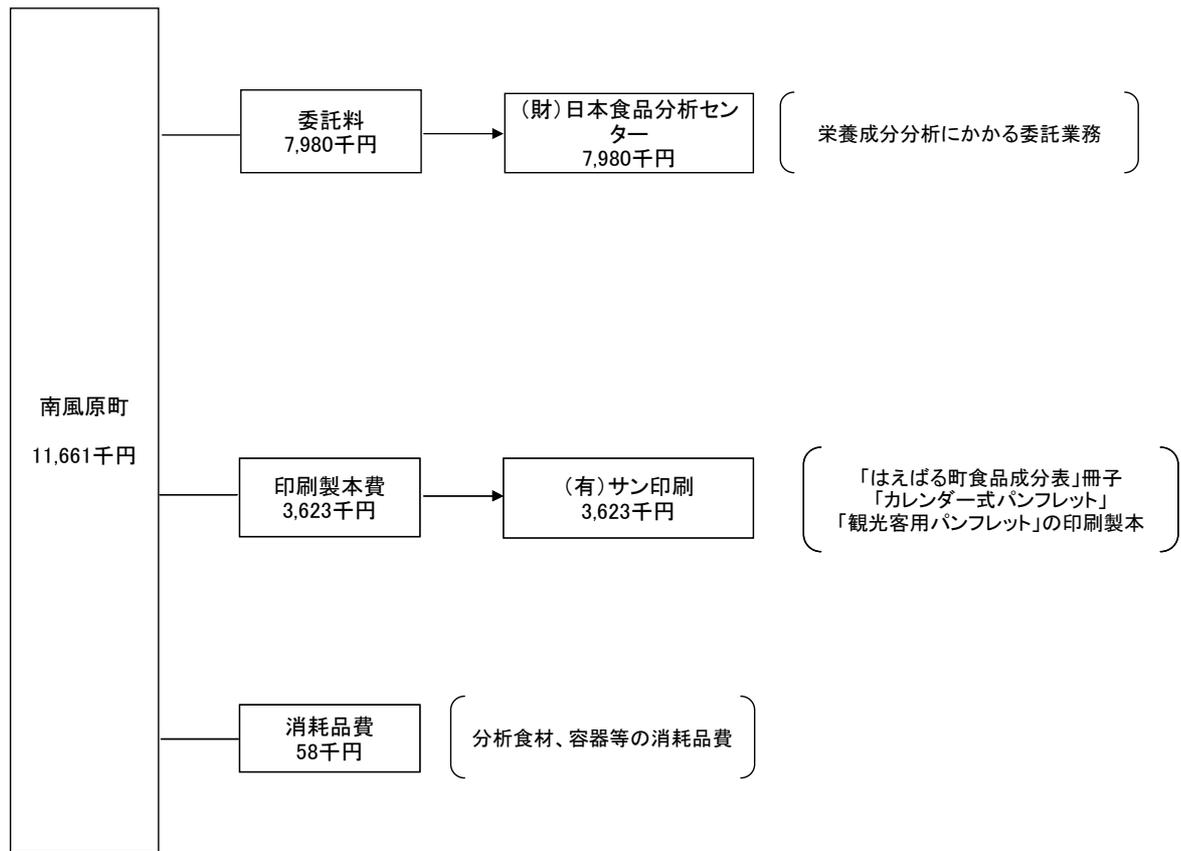
市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	物産と食開発プロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本町の特産品のへちま、ストレリチア(極楽鳥花)、かぼちゃ、スターフルーツ、はえばる豚等を活かした「南風原町らしいグルメ」の開発のため、物産展・グルメコンテストを行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		3,772				
			3,772				
			0				
			—				
			3,772				
	B. 執行済額		3,734				
	うち交付金充当額		2,987				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		99.0%				
予算の状況の説明		予算は計画とおりに執行し、事業を円滑に行うことができた。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	物産展・グルメコンテスト開催：1回	目標	(1回)	()	()	()	
	実績	1回					
達成状況説明	南風原町物産展とグルメコンテストを行い、飲食業、農業、小売業が連携し、物産の販売、特産品を使った新しいメニューを誕生させた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	「南風原町らしいグルメ」の開発	目標	(0)	(4品)	()	()	()
		実績		8品			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	グルメコンテストで8店舗が出店して、新メニューが8品できた。						

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	食と観光全国へ発信！事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-オ		
担当部課名	民生部保健福祉課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>これまで沖縄県民は、沖縄の気候・風土にあった地産地消の食材と伝統文化や伝統行事を継承しながら、沖縄の食文化を育み、健康長寿を維持してきた。今回、「日本食品標準成分表」に載っていない沖縄独特の食材や加工品、南風原町で生産され又はよく食されている食材や伝統行事食の栄養価を分析し、「地域版栄養成分表」を作成する。その資料をもとに観光客向けに紹介するパンフレットを作成する。パンフレットは商工会や中央公民館や文化センター等へ配置し、南風原町の健康的な食文化や食材をアピールする。町民向けにカレンダー式のパンフレットも作成し、全世帯へ配布することで、町民へ食材や行事食の栄養価の情報を発信し、地産地消の推進につなげ、さらに健康づくりと生活習慣病の予防対策を推進し、「健康食文化」の形成に活用していきたい。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,143				
		(b) 予算現額	12,143				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	12,143				
	B. 執行済額		11,661				
	うち交付金充当額		9,328				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		96.0%				
予算の状況の説明		不要額は482千円発生しているが、印刷製本費の入札残と、委託料の入札残、消耗品費の残である。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光客向けパンフレット作成(20,000部) ・町民向けパンフレット作成(12,000部)	目標	(32,000部)	()	()	()	
		実績	32,000部				
	・地域版食品成分表作成(200部)	目標	(200部)	()	()	()	
		実績	200部				
達成状況説明	・食品の栄養成分分析結果をもとに観光客向けパンフレット20,000部と町民向けカレンダー式パンフレットを12,000部作製した。 ・地域でよく食されている食品、食材の35品目について栄養成分分析を実施し、地域版食品成分表「はえばる町食品成分表」を200部作製した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・観光施設等における観光客向けパンフレットの配布 ・町民向けパンフレットの配布(12,000部)	目標	(0)	(32,000部)	()	()	()
		実績		18,000部			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・町民向けカレンダー式パンフレットを全世帯へ12,000部配布した。 ・観光客向けパンフレットを町商工会、観光協会、中央公民館、文化センター等へ合わせて約6,000部配置した。観光客向けのパンフレットは平成24年度末に仕上がったため、観光施設への配置については、平成24年度内では6,000部の配置にとどまった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域版食品成分表」は県内各市町村と保健所、関係医療機関に配布し、「活用したい」との声を多く得ている。今後まだ分析していないが必要な食品の分析が可能か。 ・町民配布用の「カレンダー式パンフレット」については南風原町内全世帯に配布し、町民から「分かりやすい」との声が多く寄せられ、毎年作成して欲しいとの声がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域版食品成分表」の食品や食材の品目を拡大することで、沖縄の食への興味関心がさらに深め、さらに分析結果を基にしていくことは、観光客へのPRに繋がると考える。 ・「カレンダー式パンフレット」については町民へ毎年情報を発信していくことで、町民が沖縄の食品、食材を見直し、健康意識、地産地消の意識を持ち、「健康・長寿おきなわの推進」に繋がると考える。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域版食品成分表」の食品・食材品目拡大については、今後栄養分析が必要な食品・食材を調査していく。 ・「カレンダー式パンフレット」を栄養分析結果を基に、内容を追加又は修正を加え毎年作成していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,661	11,661	9,328	2,333	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約となったが、事業を遂行ための事前調査を実施した結果であり、適当であったと考えている。 ○予算規模や費目・用途は書類等で確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑩	農業生産体制強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
担当部課名	経済建設部 都市整備課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	農産物の未舗装道路の粉塵による生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止するため、既設の未舗装道路にアスファルト舗装を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000				
		(b) 予算現額	10,001				
		(c) 増減額 (b-a)	1				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,001				
	B. 執行済額		10,001				
	うち交付金充当額		8,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路（720m）→アスファルト舗装（720m）	目標	（ 720m ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	720m				
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	農産物の未舗装道路の粉塵による生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止するため、既設の未舗装道路にアスファルト舗装を計画通り720m実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路（720m）→アスファルト舗装（720m）	目標	（ 0m ）	（ 720m ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		720m			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
進捗状況説明	未舗装道路にアスファルト舗装をしたことにより、粉塵による農産物の生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止する事が出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>アスファルト舗装を行い通行しやすく整備できたが、河川側に安全柵が無い ため転落の恐れがある、安全柵設置の必要がある。</p>	<p>安全柵を設置することにより河川側への転落の恐れもなくなり耕作者や生 産物を運搬する車両の安全が図れる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○通行者や農産物を運搬する車両が安全に通行できるよう安全柵の設置を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
10,001	10,001	8,000	2,001	


```

graph LR
    A[南風原町  
10,001千円] --> B[工事費  
10,001千円]
    B --> C[有限会社五光園  
10,001千円]
    subgraph Note
    D[アスファルト舗装にかかる工事]
    end
    C --- Note
  
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定方法については指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	動く広告塔事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	総務部 税務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本町のイメージアップを図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成する。また、交通安全の推進を図るため、従来標識にはない「発光塗料」等も併せて採用する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,728				
		(b) 予算現額	3,728				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,728	0			
	B. 執行済額		1,974				
	うち交付金充当額		1,579				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		53.0%				
予算の状況の説明		当初予定していた発注枚数を変更(減)したことで、最終的な仕様が決定したこと及び入札残により執行率が低くなっている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作枚数 3,000枚	目標	(3,000枚)	()	()	()	
		実績	3,000枚				
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成25年4月1日交付開始。町の広報誌やホームページ等に掲載し周知を図った。また、町内外へ配達エリアを受け持つ郵便局の車両38台へ新標識一斉交付を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作枚数 3,000枚	目標	(0)	(3,000枚)	()	()	()
		実績		3,000枚			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	オリジナルナンバープレートは新規登録者及び従来標識から新標識へ変更を希望した者を対象に交付している。広報誌や地元紙に掲載されたことで、町内外へPRを図ることができ、窓口においても順調に交付をおこなっている。新標識交付数は平成25年4月末現在において、50CC以下・77枚、90CC以下・22枚、125CC以下・53枚 合計152枚となっている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新標識を希望しない者への対応を懸念し、従来標識の併用交付も対応する予定で見込んでいたが、これまで当該事例については1件となっており、現時点において新標識交付については順調に進んでいる。	交付の際には町民への理解と協力を呼びかけながら、新標識の交付を推進していく。
	今後の取り組み方針	
今後も安全なまちづくりの推進と地域振興・観光産業振興を図るため、新標識を通し町内外へのPRに努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	1,974	1,974	1,579	395	
<pre> graph LR A[南風原町 1,974千円] --> B[委託料 1,974千円] B --> C[巢守金属工業 株式会社 1,974千円] </pre> <p style="text-align: right;">〔南風原町原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作にかかる委託業務〕</p>					

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○全国的にもオリジナルナンバープレートの製作を行っている企業は少なく、調査し把握したのは2社。委託事業者は、本事業の目的を達成するために必要なすべての条件を満たしており、さらに実績、技術等を勘案した上で選定し、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	はえばるリサイクルループ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
担当部課名	総務部 住民環境課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な循環型社会の構築 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	町内で発生する食品廃棄物（生ごみ、廃食用油含む）を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。さらに飼料や肥料で豚肉や有機野菜を生産し、家庭や保育所、町内飲食店で食される。バイオディーゼル燃料は給食配送車やごみ収集車の燃料として使用されることで、町内の食品廃棄物の循環を構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,596				
		(b) 予算現額	12,596				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	12,596				
	B. 執行済額		11,539				
	うち交付金充当額		9,231				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		91.6%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生ごみ（家庭系）の年間資源化量	目標	（ 45トン ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	37トン				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
実績							
達成状況説明	生ごみの回収量を増やすために、回収地域へのチラシ配布や町広報誌で生ごみ回収参加の呼びかけを行った。見込んでいたほど回収世帯の件数を増やすことができず、年間資源化量は目標を下回った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	生ごみ（家庭系）の年間資源化量	目標	（ 35トン ）	（ 45トン ）	（ ）	（ ）	（ 89トン ）
		実績		37トン			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
進捗状況説明	生ごみの回収量を増やすために、回収地域へのチラシ配布や町広報誌で生ごみ回収参加の呼びかけを行った。見込んでいたほど回収世帯の件数を増やすことができず、年間資源化量は目標を下回った。食品廃棄物の循環を構築するため年間資源化量の増加に今後も努める。						

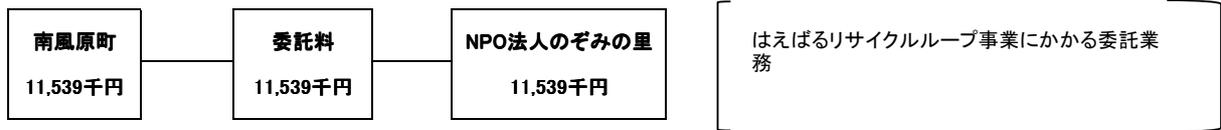
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動目標の生ごみの年間資源化量が目標達成できなかった要因として、チラシ配布が回収地域全体へ配布できなかったことや、町広報誌での募集案内の回数が少なかったことが考えられる。	活動目標を達成するために、回収地域全体へチラシを配布できるよう計画することや、町広報紙での募集案内の回数を増やすことが必要である。

今後の取り組み方針

町内の各家庭や飲食店等からの生ごみの回収量を増やしていき、食品廃棄物の循環の環を広げていく。また豚肉や有機野菜の生産を増やし、販売先の拡大確保に努め、委託先のNPO法人のぞみの里の自立した運営を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,539	11,539	9,231	2,308	



資金の流 れの流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の性質上、競争入札は難しい。委託先は平成20年度から生ごみの回収処理の事業を請け、現在のリサイクルループ事業へと展開しており、選定は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	環境学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-オ		
担当部課名	総務部 住民環境課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	学校や教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による環境教育プログラム「買い物ゲーム」を実施する。「買い物ゲーム」とは本物そっくりに描かれたイラストの材料キットを使った模擬店舗で買い物体験をし、日常生活の買い物の中にどれだけのごみ処理費や環境負荷がかかっているかを楽しく学び気づかせてくれるプログラムである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	630					
	(b) 予算現額	630					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	630					
	B. 執行済額	630					
	うち交付金充当額	504					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初の計画通り執行することができた						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	町内4小学校の4年生対象環境学習「買い物ゲーム」の実施	目標	(12回)	()	()	()	
		実績	12回				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町内の4小学校において4年生9クラス、5年生3クラスで「買い物ゲーム」を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）	
	環境学習「買い物ゲーム」体験者数	目標	(325人)	(400人)	()	()	(500人)
		実績		407人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	町内の4小学校において12クラス、合計407人の児童が「買い物ゲーム」を体験し、ごみ処理問題や環境保全についての理解を深めることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校との日程調整で難しい部分があった。	学校に早めに案内し、日程調整をスムーズに行えるようにする。
今後の取り組み方針		
学校全体の年間スケジュールの中に環境学習としての「買い物ゲーム」を位置づけし、継続して取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	630	630	504	126	
<pre> graph LR A[南風原町 630千円] --> B[委託料 630千円] B --> C[沖縄リサイクル運動市民の会 630千円] </pre> <p>環境学習支援事業にかかる委託業務</p>					

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先が開発したプログラムで、県内や県外、また海外でも実施されている実績があり、選定は妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	草木リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	総務部 住民環境課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な循環型社会の構築 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	「循環のシステム」を構築するため、町内の各家庭から排出される草木を分別回収し、委託業者により堆肥化され農地で活用する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,318				
		(b) 予算現額	5,501				
		(c) 増減額 (b-a)	183				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,501				
	B. 執行済額		5,501				
	うち交付金充当額		4,400				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	草木のリサイクル量	目標	(340トン)	()	()	()	
		実績	349トン				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町内の各家庭から排出された草木349トンを回収、委託業者により堆肥化され農地で活用された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	草木のリサイクル量	目標	(299トン)	(340トン)	()	()	(450トン)
		実績		349トン			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	町内の各家庭から排出された草木を分別回収し、委託業者により堆肥化され農地で活用されることにより、循環のシステムが構築されている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	草木の回収時に土や草木以外の物が混入していることがあり堆肥化に支障をきたしている。	広報や分別指導を行い草木以外の混入を防ぎ、堆肥化がスムーズに行えるようにする。
今後の取り組み方針		
今後も分別回収を徹底し、町内から排出される草木は、すべて堆肥化できるようにし、循環型社会の構築を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,501	5,501	4,400	1,101	
<pre> graph LR A[南風原町 5,501千円] --> B[委託料 5,501千円] B --> C[株式会社 美玉開発 5,501千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の製造する堆肥は沖縄県リサイクル資材評価認定制度に認定されており、循環型社会を構築する本事業に合致するため、選定は妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤		省エネ施設推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
	担当部課名	教育部 学校教育課 民生部 こども課、保健福祉課		事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素島しょ社会の実現 Ⅲ-10-(1)	
事業内容		地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減する手段として消費電力を抑えるため、小中学校、公立保育所等に断熱フィルムを設置する。また、小中学校の教室の扇風機を取り替える。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,224					
		(b) 予算現額	24,224					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	24,224					
	B. 執行済額		20,474					
	うち交付金充当額		16,378					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		84.5%					
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	目標	断熱フィルム施工：1,920.09㎡ 【内訳】 ・総合保健福祉防災センター：244.99㎡ ・宮平保育所：145.05㎡ ・小学校：980.62㎡・中学校：549.43㎡ 扇風機設置：162台	目標	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
		実績	断熱フィルム施工：1,919.09㎡ 扇風機設置：162台					
達成状況説明	断熱フィルム施工及び扇風機設置については、計画していた施設に整備できた。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	目標	断熱フィルム施工：1,920.09㎡ 【内訳】 ・総合保健福祉防災センター：244.99㎡ ・宮平保育所：145.05㎡ ・小学校：980.62㎡・中学校：549.43㎡ 扇風機設置：162台	(0)	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
		実績	断熱フィルム施工：1,919.09㎡ 扇風機設置：162台					
	【参考指標】	目標	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
		実績						
	進捗状況説明	断熱フィルム施工及び扇風機設置については、計画していた施設に整備できた。断熱フィルムを貼ったことで、太陽の日差しが反射されるため室内に入る熱をおさえる事ができ室内の断熱効果が高まった。また、断熱フィルムは紫外線を99%カットする効果があるため、設置施設内の紫外線予防対策が図れた。						

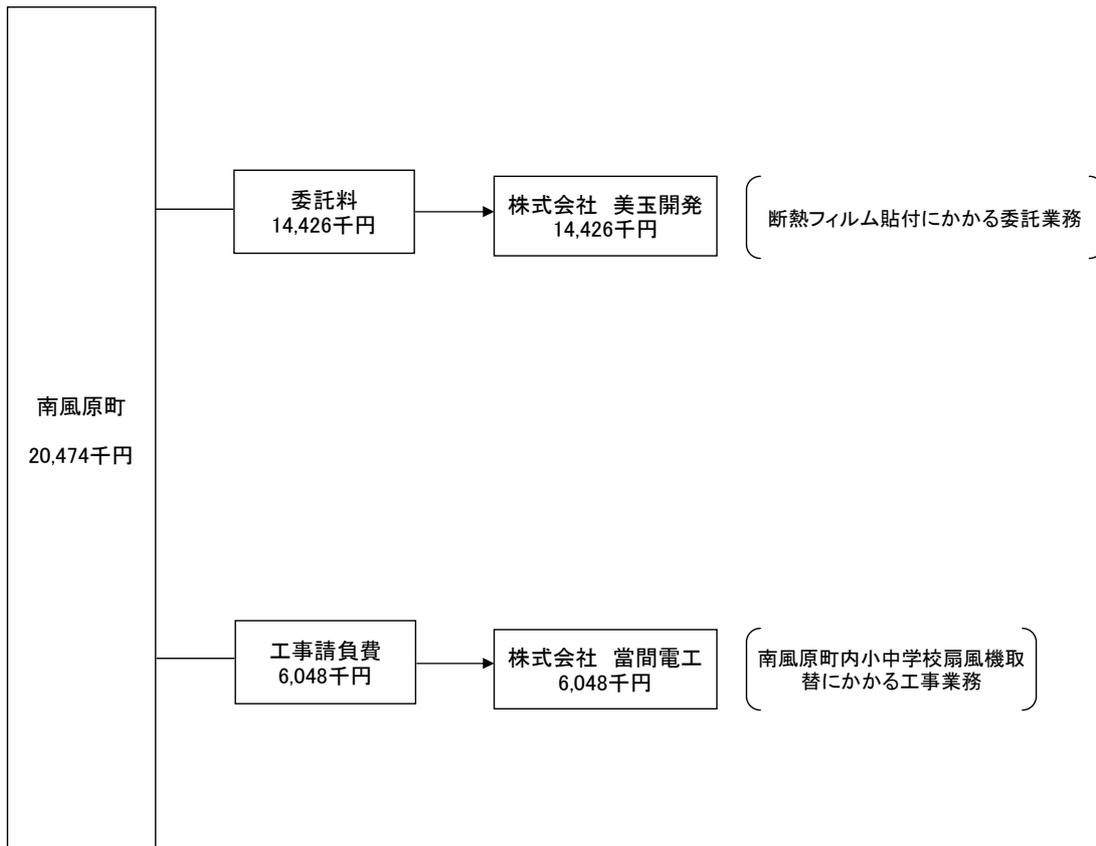
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 断熱フィルム貼り付け後、1年間を消費電力の計測期間とするため、貼付前と貼付後でどれだけ消費電力が下がるかを検証する。 消費電力に変化が見られない場合は、その理由を分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力の抑制、若しくは更なる抑制を目指すため、断熱フィルム以外でも消費電力抑制効果を持つ事業があるかどうか検討する。

今後の取り組み方針

・断熱フィルム貼付以外でも消費電力抑制効果を持つ事業がある場合は、その事業を実施出来るか検討し、実現出来るよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

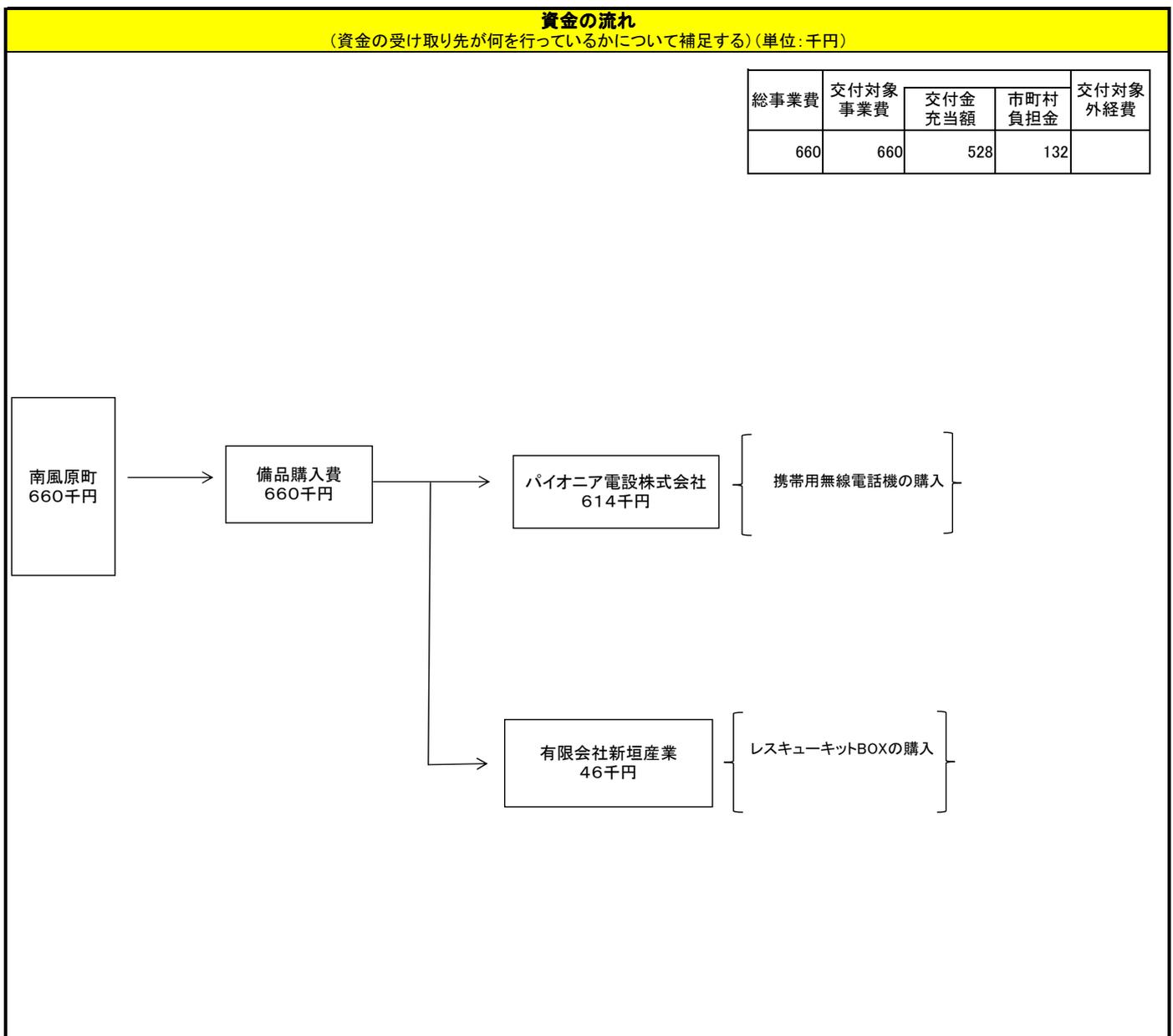
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,474	20,474	16,378	4,096	



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	デジタルMCA携帯・無線電話装置等導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務部 総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティーネットの確立 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	台風等の自然災害による被害が多発しているため、災害時の際に、災害現場と災害対策本部との正確な情報交換を行えるよう携帯用無線機等を購入する。購入することにより、災害対策本部からの適切な指示と迅速な対応ができるようになる。また、災害時に負傷者を救出できるよう、レスキューキットBOXを購入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	733				
		(b) 予算現額	660				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 73				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	660				
	B. 執行済額		660				
	うち交付金充当額		528				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算の減額があるが、当初の計画通り、携帯用無線機及びレスキューキットBOXの購入を実施することができたため、入札残の金額を減額した。事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・携帯用無線機の購入	目標	（ 4台 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	4台				
	・レスキューキットBOXの購入	目標	（ 1セット ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	1セット				
達成状況説明	台風を含む自然災害や不発弾処理などの際に、現場と本部との通信が可能な、携帯用無線機を4台購入し、災害現場などで救助する際に必要なレスキューキットBOXを1セット購入した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・携帯用無線機の購入	目標	（ 0台 ）	（ 4台 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		4台			
	・レスキューキットBOXの購入	目標	（ 0セット ）	（ 1セット ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		1セット			
	進捗状況説明	携帯用無線機やレスキューキットBOXを購入したことにより、いつ発生するかわからない災害に備えることが可能となった。また目標どおり、携帯用無線機及びレスキューキットBOXの購入を行うことができたため、本町の防災体制強化を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○災害はいつ発生するかわからない為、日頃から訓練等を行い、対応できるように心がける必要がある。</p> <p>○防災訓練や避難訓練を実施し、災害が発生した場合に備える必要がある。</p>	<p>○防災訓練や避難訓練などで、実際に携帯用無線機やレスキューキットを使用し、操作方法に慣れておく。そうすることにより、災害が発生した場合に、迅速に対応でき、住民や観光客の安心安全を守ることができる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○防災訓練や避難訓練を実施し、操作方法等を習得する。また、誰でも使用できるように多くの職員に使用させる。</p> <p>○台数の検証を行い、今後、必要な場所があれば増設し、より一層災害に強いまちづくりを推進していく。</p>		



資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○購入先業者は、入札による落札業者の為、妥当である。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	不発弾避難支援システム整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ		
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	町が保有する図面と住民情報、要援護者台帳等を連携した避難支援システムを導入し、不発弾発見時や自然災害時に、避難対象区域内の住民情報及び要援護者情報を正確に把握し、避難支援を効率的に実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	10,600					
	(b) 予算現額	4,148					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,452					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	4,148					
	B. 執行済額	4,148					
	うち交付金充当額	3,318					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・不要額が6,452千円発生しているが、委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	住民情報・要援護者台帳の電子化 住民数 36,072人 (H25.2現在) 要援護者数 488人 (H25.2現在)	目標	(住民36,072人 要援護者488人)	()	()	()	
		実績	住民36,072人 要援護者488人				
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
		実績					
不発弾避難支援システムを構築した事により、住民数36,072人及び要援護者数488人(H25年2月現在)分の情報を電子化する事ができ要援護者の把握が容易となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	住民情報・要援護者台帳の電子化率：100%	目標	(0%)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	町が保有する図面と住民情報、要援護者台帳等を電子化した事により、不発弾発見時や自然災害時に、避難対象区域内の住民情報及び要援護者情報を正確に把握し、避難支援を効率的に実施する事が可能となった。					

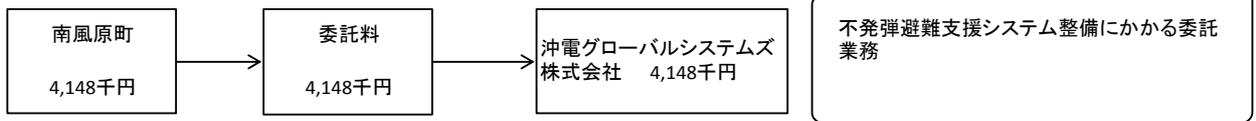
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>不発弾避難支援システムを構築した事により、住民情報や要援護者台帳等の情報を電子化することができたが、現在、要援護者台帳の情報は防災担当職員のみが活用出来る状態でシステムを設定している。</p> <p>大規模災害等の緊急事態を想定した場合、防災担当職員以外の職員も活用出来る様なシステム運用について議論の余地がある。</p>	<p>今後、大規模災害等の緊急事態を想定し、防災担当職員以外の職員も活用出来る様なシステム設定について議論していく。</p>

今後の取り組み方針

今後は、大規模災害時における被害を最小限に抑え、町民の生命・財産を守り災害に強いまちづくりが実現できる様、不発弾避難支援システムを効果的に活用していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

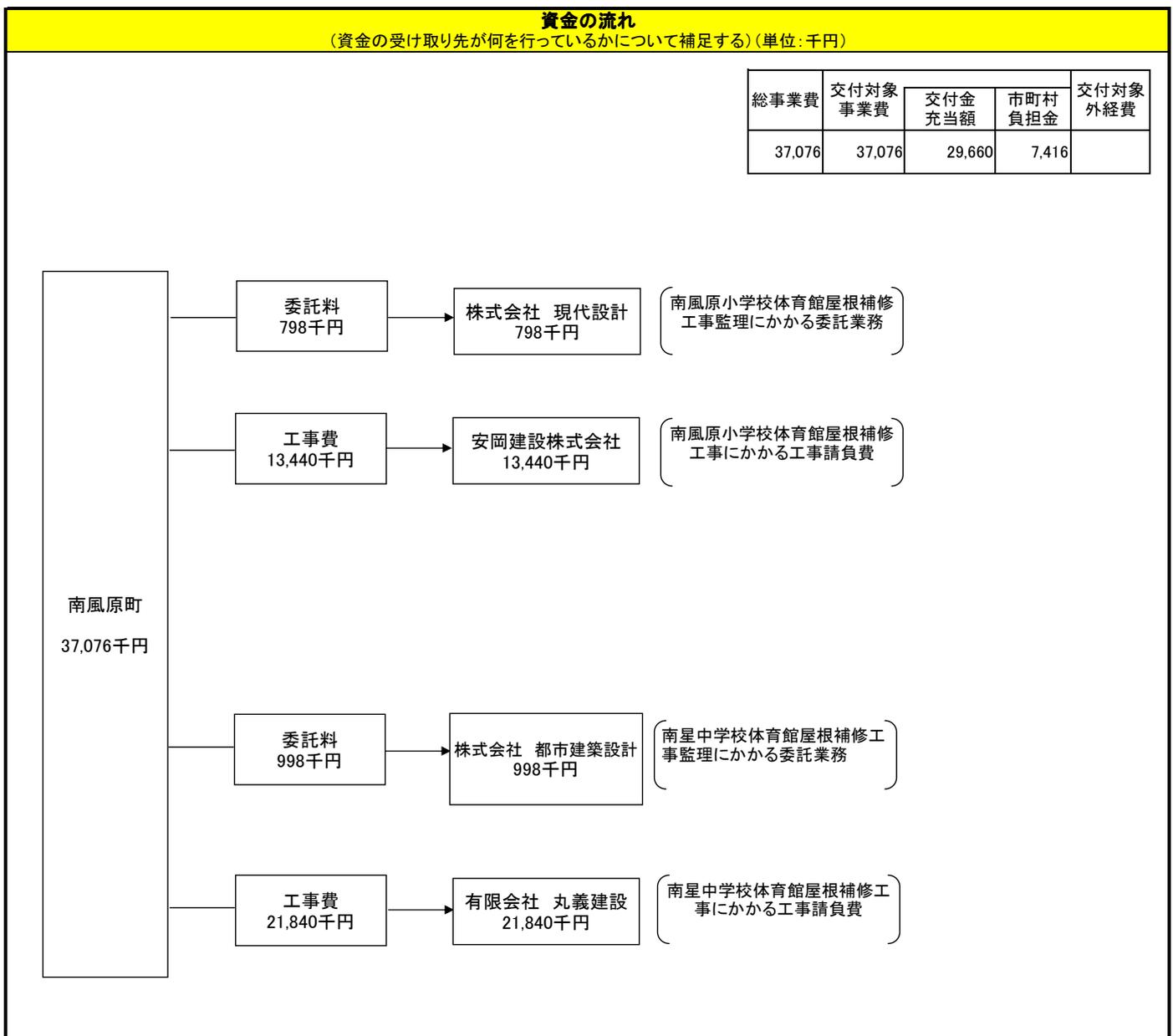
総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,148	4,148	3,318	830	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の目的達成に必要な事項を仕様書で定めその要件を満たす事業者を指名競争入札により選定、またシステム整備にかかる費用も必要額であることが契約時の書類等で確認ができることから妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	小中学校体育館屋根長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっている体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所としての施設強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		40,000				
			40,000				
			0				
			—				
			40,000				
	B. 執行済額		37,076				
	うち交付金充当額		29,660				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.7%				
予算の状況の説明		不要額が2,924千円発生しているが、委託料及び工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	屋根の改修(施設強化) 小学校体育館:4校中1校 中学校体育館:2校中1校	目標	(小学校:1校 中学校:1校)	()	()	()	
		実績	小学校:1校 中学校:1校				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	災害時には緊急避難場所になることから、補修工事を実施した。以前から雨漏りなどが特にひどかった小学校と中学校の体育館を1校ずつ補修することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	屋根の改修(施設強化) 小学校体育館:4校中1校 中学校体育館:2校中1校	目標	(0)	(小学校:1校 中学校:1校)	()	()	(—)
		実績		小学校:1校 中学校:1校			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	屋根の補修工事を実施したことにより災害時の避難場所の施設強化が図れた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	台風襲来等による施設の荒廃は避けられないが、学校施設は地域住民の応急的な避難所としての役割も担っていることから、必要な耐震性の確保を引き続き確認する必要がある。	台風襲来等の災害後は施設の被害状況の把握に努める。
	今後の取り組み方針	
施設の安全点検実施等の取り組みを行う。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業者は町登録名簿から選定しており、妥当であったと考えている。 費用・使途については事業目的の達成の観点から、適正であったといえる。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	南風原町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-⑤	災害時等避難施設改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部課名	総務部 総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ-10-(2)			
事業内容	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会所の整備を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000					
		(b) 予算現額	1,432					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,568					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,432					
	B. 執行済額		1,428					
	うち交付金充当額		1,142					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		99.7%					
予算の状況の説明		当初5箇所の施設整備を予定していたが、1箇所のみ申請となったため予算減額となっている。事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・施設整備補助件数 1自治会	目標	(1自治会)	()	()	()		
		実績	1自治会					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	災害時の避難施設であるコミュニティセンター（公民館）1箇所を災害に備え改修整備を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）	
	・施設整備補助 H23:0件→H24:1件	目標	(0)	(1自治会 5%)				(19自治会)
		実績		1自治会 5%				
		目標	()	()	()	()	()	()
		実績						
	進捗状況説明	災害時の避難施設であるコミュニティセンター（公民館）1箇所を災害に備え改修整備を行なった。いつ発生するかわからない災害に備えることができる。一次避難所（地域公民館や集会所）を改修整備することにより、災害に強いまちづくりの推進を図ることが可能となる。						

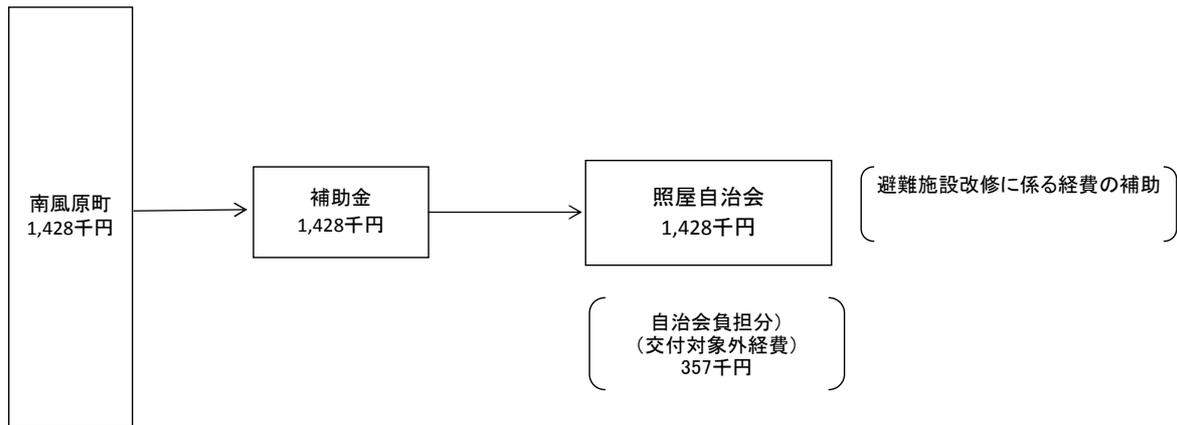
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○災害はいつ発生するかわからない為、避難施設の整備を行い、災害に備えなければならない。また、防災体制の強化を図り、啓蒙を行う必要がある。</p> <p>○積極的に、防災訓練等を開催し、災害に強いまちづくりを推進する。また、訓練を通して住民などへ、防災・減災の啓蒙を行う。</p>	<p>○防災訓練を通し、備蓄品の必要性や避難場所の確認をすることにより、様々な人に防災に対する意識が芽生えるため、町全体の防災・減災に対する推進を図ることができる。</p>

今後の取り組み方針

○整備した施設を活用して防災訓練や避難訓練を実施し、町全体の防災・減災体制の強化を図り、今まで以上に災害に強いまちづくりを推進していく。
 ○住民等への啓蒙が課題となる為、施設を活用した訓練等への積極的な参加を呼びかけていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,785	1,428	1,142	286	357



資金の用途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥	災害時等避難施設防災体制強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	沖縄県は島しょ県であるため、大災害が発生すると孤立する可能性があるため、災害時の避難施設である地域公民館や集会所に災害に備えた備蓄倉庫及び食糧等を購入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,767				
		(b) 予算現額	4,731				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,036				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,731				
	B. 執行済額		4,667				
	うち交付金充当額		3,733				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		98.6%				
予算の状況の説明		事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・備蓄品の購入(19自治会) ・防災倉庫の購入(19自治会)	目標	(19自治会)	()	()	()	
		実績	19自治会				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	災害時の避難施設である地域公民館や集会所(19箇所)に災害に備えた備蓄倉庫および食糧等を購入。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・備蓄品の購入(19自治会) ・防災倉庫の購入(19自治会)	目標	(0自治会)	(19自治会)			()
		実績		19自治会			
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	災害時の避難施設である地域公民館や集会所(19箇所)に災害に備えた備蓄倉庫および食糧等を購入。いつ発生するかわからない災害に備えることができる。一次避難所(地域公民館や集会所)の備蓄品を整備することにより、災害に強いまちづくりの推進を図ることが可能となる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○災害はいつ発生するかわからない為、食料等の備蓄を行い、災害に備えなければならない。また、防災体制の強化を図り、啓蒙を行う必要がある。</p> <p>○積極的に、防災訓練等を開催し、災害に強いまちづくりを推進する。また、訓練を通して住民などへ、防災・減災の啓蒙を行う。</p>	<p>○防災訓練を通し、備蓄品の必要性や避難場所の確認をすることにより、様々な人に防災に対する意識が芽生えるため、町全体の防災・減災に対する推進を図ることができる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○防災訓練や避難訓練を実施し、町全体の防災・減災体制の強化を図り、今まで以上に災害に強いまちづくりを推進していく。</p> <p>○住民等への啓蒙が課題となる為、訓練等への積極的な参加を呼びかけていく。</p>		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,667</td> <td>4,667</td> <td>3,733</td> <td>934</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,667	4,667	3,733	934	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,667	4,667	3,733	934											
<p>南風原町 4,667千円</p>	<p>需用費 1,832千円</p>	<p>ワークプラザ南風 285千円</p> <p>有限会社新垣産業 1,547千円</p>	<p>(備蓄品の購入)</p> <p>(備蓄品の購入)</p>											
	<p>備品購入費 2,835千円</p>	<p>有限会社ウェルネス沖縄 2,835千円</p>	<p>(備蓄倉庫の購入)</p>											

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○購入先業者は、入札による落札業者及び地方自治法施行令による随意契約の為、妥当である。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

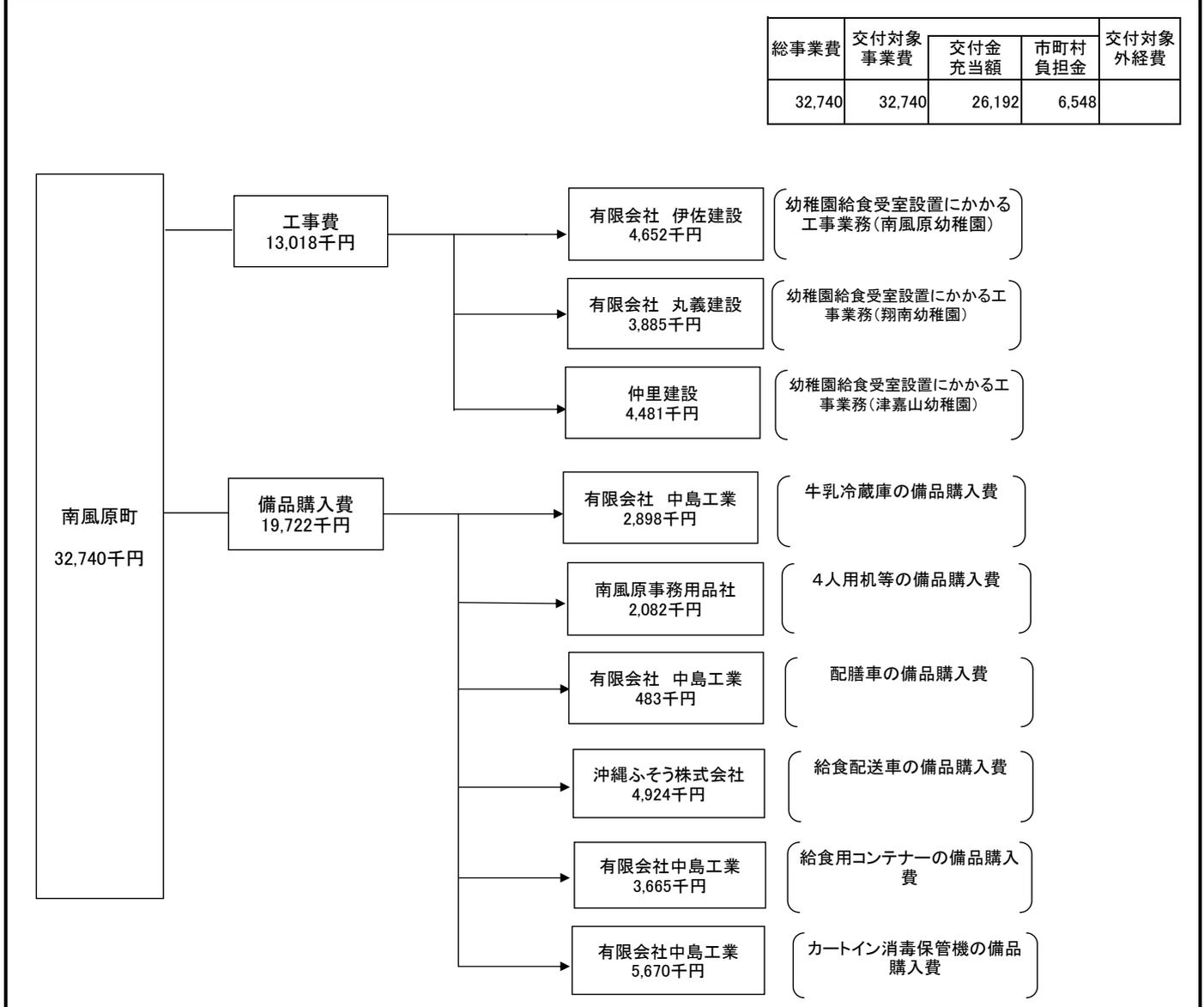
市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	町立幼稚園給食受室設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育委員会 学校教育課／教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	子育て支援策として、幼稚園教育の時間延長を行い給食提供を開始するため、幼稚園に給食受室を増築するとともに給食配送車、牛乳保冷庫や食事用機など関連備品を購入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		36,876				
			33,018				
			▲ 3,858				
			—				
			33,018				
		B. 執行済額					
		うち交付金充当額	26,192				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	99.2%				
	予算の状況の説明	予算額が3,858千円減となっているが、幼稚園給食受室設置工事や幼稚園給食備品の入札残であり、当初計画していた事業内容は全て実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	幼稚園給食受室:3幼稚園 牛乳保冷庫:4台 給食運搬ワゴン:4台等 給食配送車:1台 カートイン消毒保管機等	目標	(給食受室設置及び関連備品整備)	()	()	()	
		実績	給食受室設置及び関連備品整備				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
	達成状況説明	幼稚園給食受室は3幼稚園を、設置することができた。 牛乳保冷庫・給食運搬ワゴン・4人用給食機など各幼稚園に配置することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	幼稚園給食受室:3幼稚園 牛乳保冷庫:4台 給食運搬ワゴン:4台等 給食配送車:1台 カートイン消毒保管機等	目標	(0)	(給食受室設置及び関連備品整備)	()	()	()
		実績		給食受室設置及び関連備品整備			
		【参考指標】	目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	給食受室の整備及び給食提供に必要な備品等を整備できたことにより幼稚園の給食開始をスムーズに行う事ができ、安全で安心した給食を提供することができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	通常の幼稚園保育を行いながらの工事であったため、工事による粉塵や、騒音等が出る作業などは休日に行うなど、注意しながら作業を行った。	業者との作業内容の確認などをしっかり行い、通常業務に支障の無いようにしていきたい。

今後の取り組み方針

今年度より開始された幼稚園給食について、今後はスムーズに給食配膳・実施ができるよう状況を確認しながら事業を執行していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業者は町登録名簿から選定しており、妥当であったと考えている。 予定していた事業内容を全て行うことができましたので、予算規模も正当だったといえる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

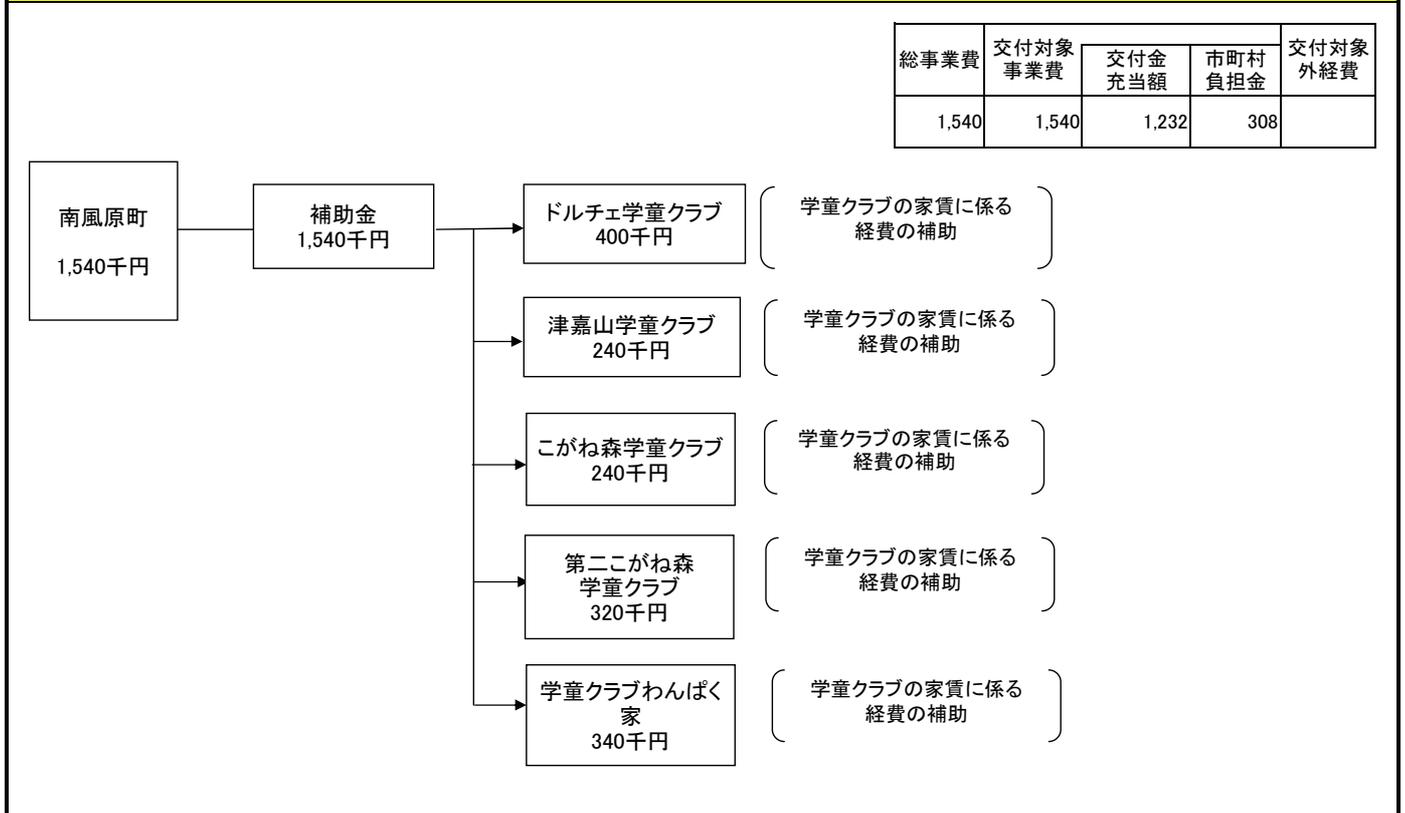
市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②		放課後児童の居場所づくり支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
	担当部課名	民生部 こども課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実 Ⅲ-4
事業内容	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている学童クラブに対して、負担軽減のため一月50,000円の上限で家賃補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	1,548				
	(b) 予算現額	1,548					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	1,548					
	B. 執行済額	1,540					
	うち交付金充当額	1,232					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	99.5%					
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学童クラブ家賃補助実施学童:5件 (津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ)	目標	(5件)	()	()	()	
		実績	5件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている5学童クラブに対して、負担軽減のため一月50,000円の上限で家賃補助を行い、利用している学童クラブに対し支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	学童クラブ家賃補助実施学童:5件 (津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ)	目標	(0件)	(5件)	()	()	(5件)
		実績		5件			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている5学童クラブに対して、負担軽減のため一月50,000円の上限で家賃補助を行い、利用している学童クラブに対し支援することができた。今後は、新規に開設する学童クラブで民間施設を賃貸して運営する場合には、同事業を活用し経営の安定化を図りながら子ども達の居場所づくりを支援していきたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 家賃補助を支援している学童クラブに対し、支援前と支援後でどのような効果があったかどうかを検証する。 現段階での町内小学校の新設等の予定はなく、空き教室につきましても学級増が見込まれるため、公設民営化への移行は厳しい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の効果(例:学童保育料の軽減)の見極め、事業の継続性を図っていききたい。また、支援を行っていない学童クラブとの比較も検証していきたい。

今後の取り組み方針

・今後は事業の継続性を図ると共に、支援を行っていない学童クラブに対しても新規事業の導入を検討し、子ども達の放課後居場所づくりの支援をしていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は当該補助金支給要綱により企業組織、実績、知識等を助案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を各園に1名配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		4,183				
			4,183				
			0				
			—				
			4,183				
	B. 執行済額		85				
	うち交付金充当額		68				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		2.0%				
予算の状況の説明		追加分の幼稚園教諭を早期に確保することができなかった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	幼稚園預かり保育 教諭配置数(拡充分)	目標	(4人)	()	()	()	
		実績	4人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	幼稚園教諭を採用し、預かり担当として各園に1名ずつ追加で配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	幼稚園預かり保育 教諭配置数(拡充分)	目標	(0)	(4人)	()	()	(4人)
		実績		4人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	幼稚園教諭を採用し、各園に1名ずつ追加で配置した事で短い期間ではあったが、預かり保育の充実につながった。					

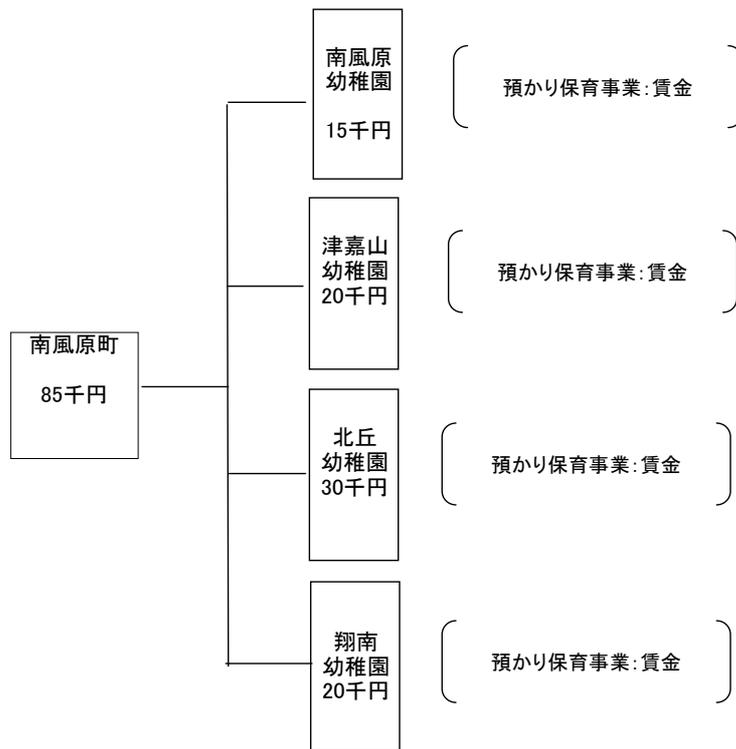
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	人的環境を整える事で、園児の安全を確保しながら、園児の自発的活動に対応することができた。	今後ともこどもの自発的活動の推進をしながら、色々な保育を展開することで心身の調和のとれた発達を促していく。

今後の取り組み方針

預かり保育においても、地域の実態、保護者のニーズに応え、幼児の健やかな成長に資する良好な環境整備に努めながら、園児が充実した幼稚園生活が展開できるよう対応していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
85	85	68	17	



資金の流 れ、費目・ 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町等の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規則」に決められた時給を支払ったので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①-i	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業 （i 陸軍病院壕公開活用事業）	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア			
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	<p>平和学習の拠点である沖縄陸軍病院南風原壕群の公開・活用を行う。 沖縄戦の追体験施設として整備を行い、公開している病院壕跡に県内外から平和学習で多くの人が訪れている。漆黒の間である壕は、ガイドがなければただの暗くて怖い場所ではないが、その場の空気を感じながら、当時の壕がどうふうになっていたのか、どういう状況で何があったのかをその場所に立って説明を受けることによって、戦争がどういうものであるかを学ぶことができる。さらに、平和と命の尊さについても考えながら、平和を創り出すことの大切さを学習することができる。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,081				
		(b) 予算現額	3,630				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,451				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		3,630				
	B. 執行済額		3,630				
	うち交付金充当額		2,904				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		実績に基づき予算額の変更あり					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	開壕日数	目標	（ 308日 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	317日				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・壕は、毎週水曜日が休曜日であるが、特に県外からの修学旅行の日程によっては水曜日にも開壕したため、実績の日数が9日増となった。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （27年度）
	見学者数	目標	（ 9,804人 ）	（ 9,700人 ）	（ ）	（ ）	（ 10,100人 ）
		実績		10,000人			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	・見学者は毎年増減があつて安定していない。その中で、1万人に達したことは大きな成果であつた。 ・前年度を196人上回ったことについては、定休日である水曜日にも開壕したことが大きな要因であると考えられる。					

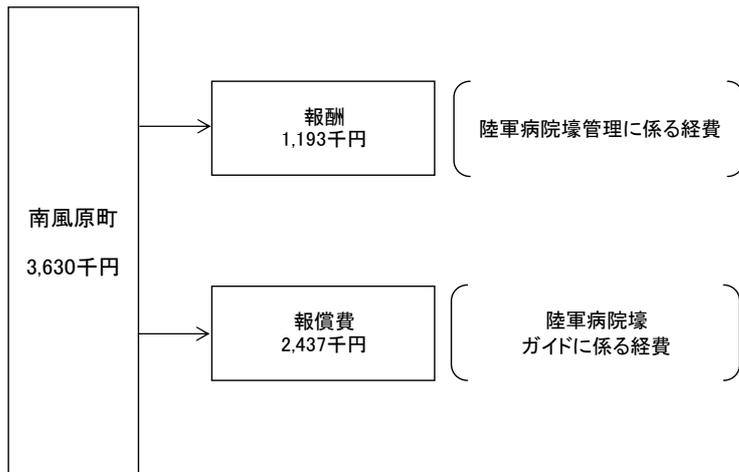
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・毎年の見学者数には波があるため、見学者数が安定していない。 例えば、2011年:9804人、2010年:9946人、2009年:8406人という状況であるため、見学者数の安定性が求められる。</p>	<p>・平成25年度から南風原町観光協会が発足したので、情報を共有しながら懇切丁寧な対応でリピーターを増やすとともに、新規の見学者を誘致して、見学者数の増加につなげていきたい。</p>

今後の取り組み方針

○町観光協会との連携によって、沖縄陸軍病院壕の存在を広く広報し、認知度を高めていきたい。
○平和学習を予定している見学者(団体)に対する事前学習用資料等の提供を懇切丁寧に行い、継続して来壕してもらえるようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,630	3,630	2,904	726	



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	○直営事業であり、予算規模・費目・用途など適正であると 考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①-ii	南風原町の歴史を踏まえた平和で豊かな暮らしの構築事業 (ii シマジマガイド事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	町内各地に古くから遺されてきた歴史的・文化的財産を資源として活用し、町内外から南風原町を訪れる人たちに町の良さと誇りを広くアピールするため、町内歴史文化等のガイドを行う。 当事業では、「シマ歩き」、「かすりロード案内」、「南風原みぐい」、「飯上げの道案内」、「戦争体験講話」、「戦争体験記録紙芝居」、「黄金森周辺案内」、「南風原戦跡巡り」、「沖縄そば作り体験」、「草木染め体験」を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	1,132					
	(b) 予算現額	1,132					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	1,132					
	B. 執行済額	1,132					
	うち交付金充当額	905					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初の計画通り執行することができた						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	シマジマガイド事業回数	目標	(24回)	()	()	()	
		実績	42回				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・シマジマガイド事業のメニューである、「シマ歩き」9回、「かすりロード案内」2回、「南風原みぐい」1回、「飯上げの道案内」5回、「戦争体験講話」10回、「戦争体験記録紙芝居」5回、「黄金森周辺案内」2回、「南風原戦跡巡り」1回、「沖縄そば作り体験」3回、「草木染め体験」1回を実施できた。「まちづくり推進室企画モデルコース」3回、計42回実施した。 ・陸軍病院壕公開活用事業と当事業との相乗効果が実績にも表れている。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)	
	シマジマガイド事業参加人数	目標	(1221人)	(1000人)	()	()	(3500人)
		実績		3349人			
	【参考指標】 沖縄陸軍病院南風原壕群20号見学者数	目標	(9804人)	(10000人)	()	()	(10100人)
		実績					
	進捗状況説明	・目標数値を大きく上回ったのは、「戦争体験講話」の依頼が前年度の3団体から10団体に増加したことが大きな要因である。これは、戦後67年経って少なくなってきた戦争体験者から、生の体験談を聞きたいという人(団体)が多いということと、体験講話の斡旋をする団体が少ないという現状があるものと思われる。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドメニューの広報や告知が行き届かず、参加者を募集しても定員に達しないために取りやめたことが複数回あった。 集落をまたいで、テーマ性を持った「シマ歩き」の開発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から南風原町観光協会が発足したので、各種ガイドメニューの開発も含めて観光協会主導に切り替えて対応していきたい。

今後の取り組み方針

○南風原町観光協会とガイド組織である南風原平和ガイドの会とが協力及び役割分担しながら、シマじまガイド事業に取り組んでいく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,132	1,132	905	227	



資金の用途の流れ、点検・評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 町内でガイド活動ができる組織はNPO法人南風原平和ガイドの会のみであり、これまでに町内各字の歴史文化を紹介するマップの作成や平和学習用のメニューなども構築している。 費目・用途についても人件費のみの費用であり、適正と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	
○			

市町村名		南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①-iii	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業 (iii町史編集事業)		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ			
	担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	南風原町は、67年前の沖縄戦時に町内各地に日本軍の部隊が配備されたことに伴って、軍隊との関わりや戦争遺跡も多く遺されている。さらに、戦死者数も当時の人口の4割を超える多大な犠牲を負ってきた。その南風原町の歴史において忘れることのできない、忘れてはならない、失われつつある戦争の体験や記憶を整理してまとめ、南風原町史第9巻戦争編本編として発刊し、広く戦争の歴史を後世に伝えるとともに若い世代に継承するものとする。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,362					
		(b) 予算現額	6,362					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	-					
		A. 計 (b+d)	6,362					
	B. 執行済額		6,214					
	うち交付金充当額		4,971					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		97.7%					
予算の状況の説明		当初額と執行額との差は、印刷製本業務の入札残額である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	南風原町史第9巻戦争編本編の発刊	目標	(発刊600部)	()	()	()		
		実績	発刊600部					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 南風原町史第9巻戦争編本編『戦世の南風原—語るのこすつなぐ—』を発刊するにあたり、18人の執筆者によって、3章47項目の原稿が執筆され、さらに町内の各字悉皆調査で収録された戦争体験証言資料も再録し、南風原町における沖縄戦資料をまとめ上げることができた。 							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	南風原町史第9巻戦争編本編の発刊	目標	()	(発刊)	()	()	()	
		実績		発刊				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数411ページ、B5版の南風原町史第9巻戦争編本編『戦世の南風原—語るのこすつなぐ—』を600部発刊した。 発刊後、平成25年6月には南風原文化センター企画展として、『語るのこすつなぐ平和』展を開催して掲載した貴重な資料を広く公開することができた。 発刊物は、本巻に収録させていただいた戦争体験者や沖縄戦に関心のある方々に配布している。 						

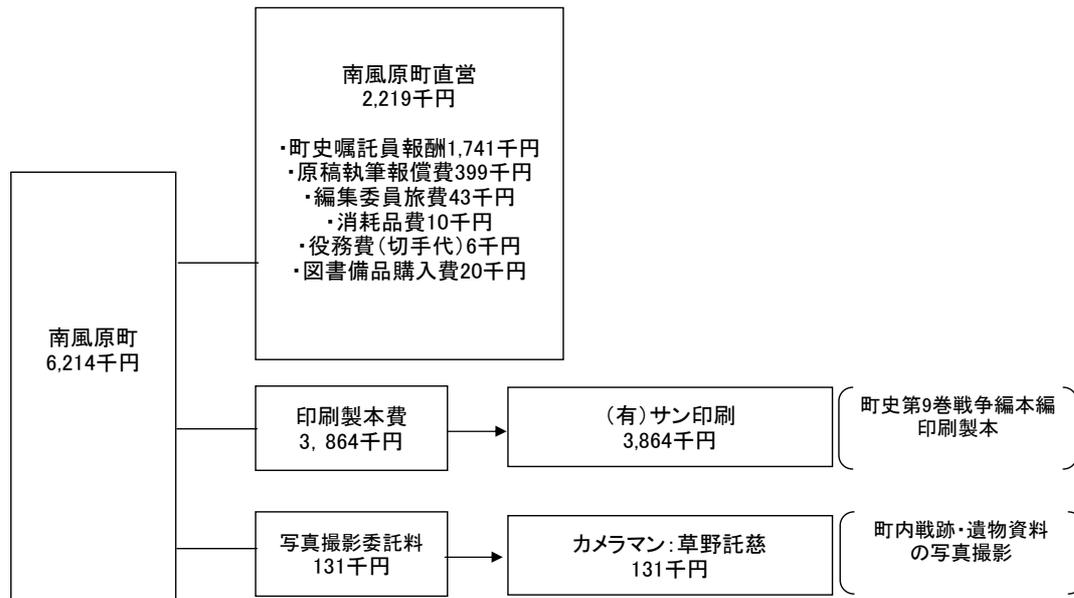
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○計画的に会議を開催し、原稿執筆、監修・編集・校正作業、印刷製本業務など全てを順調に推進することができた。	○町史編集事業の主管課が生涯学習文化課で、その業務を多くの歴史資料を蓄積している南風原文化センター内で行っていることが、町史編集作業の順調な進捗に大きく影響している。

今後の取り組み方針

○発行した南風原町史第9巻戦争編本編「戦世の南風原－語るのこすつなぐー」を活用した展示会などを企画して、戦争の実相を学び、平和や命の尊さについて考える機会をつくっていききたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,214	6,214	4,971	1,243	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷製本業務については、入札によるもので適正であると考えている。 ○事業自体は直営事業であり、予算規模・費目・用途など適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①-iv	南風原町の歴史を踏まえた平和で豊かな暮らしの構築事業 (iv資料の公開活用事業)		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	南風原文化センターに収蔵されている7万点以上の貴重な歴史資料を「民俗」「考古」「戦争」「織物」「写真」「書籍」「移民」「ビデオ」「音声テープ」等の分類別にデータベース化して整理し、各種展示会や学校における授業、記念誌編纂などで使いやすくするとともに、公開活用の幅を広げつつ後世へと継承する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,143				
		(b) 予算現額	12,143				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	12,143				
	B. 執行済額		12,143				
	うち交付金充当額		9,714				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	収蔵資料のデータベース化済み資料数	目標	(3500点)	()	()	()	
		実績	3500点				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・南風原文化センターに収蔵されている「民俗」「考古」「戦争」「織物」「写真」「書籍」「移民」「ビデオ」「音声テープ」等の資料のうち、平成24年度は「民俗」資料3500点のデータベース化を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	収蔵資料のデータベース化済み資料割合	目標	(0%)	(5%)	()	()	(100%)
		実績		5%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・収蔵資料72000点のうち、3500点(5%)のデータベース化を実施した。今後は28年度までに全収蔵資料のデータベース化を進めていく。 ・資料は早速、平成25年4月に開催した南風原文化センター企画展『検証4.28 屈辱の日』展で活用することができた。					

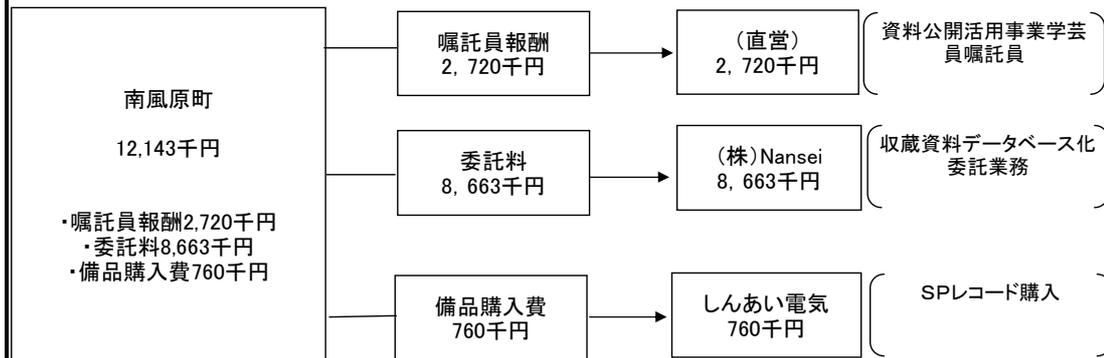
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度は収蔵資料の中における「民俗」分野の整理作業(資料をデータベース化)をした。それらの資料は、面積的または体積的に大きなものが多いため、整理作業をする場所の確保に苦慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前調整によって、整理作業を行う場所の確保を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・年次計画をもって、平成28年度までの資料のデータベース化業務を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,143	12,143	9,714	2,429	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○嘱託員については直営事業であり、予算規模・費目・用途など適正であると考えている。 ○収蔵資料データベース化委託業務は、入札によるもので適正であると考えている。 ○SPLレコード購入については、希少な資料であるため、蒐集家から格安の単価で購入した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①-v	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業 （v文化・歴史・伝統継承事業）	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ			
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 （予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
事業内容	町独自の文化・伝統・芸能を保全し、それを町内外へ発信していくため、地域の伝統芸能継承団体の組織化および育成のため補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	793				
		(b) 予算現額	244				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 549				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	244				
	B. 執行済額		177				
	うち交付金充当額		142				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		72.5%				
予算の状況の説明		・当初予定より申請が少なく、減額補正した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・伝統芸能継承団体への補助	目標	（ 3団体 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	3団体				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	伝統芸能継承団体(3団体)へ、研修会の実施や衣装購入のための補助を行った。 研修会では、後継者への伝統芸能の指導を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （年度）
	・伝統芸能継承団体への補助	目標	（ 0 ）	（ 3団体 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		3団体			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	伝統芸能継承団体へ、研修会の実施や衣装購入のため補助を行った。 研修会では、地域伝統芸能(棒術)の演技の動きや、どのような意味があるかを先輩が後輩に指導して継承に取り組んだ。 また、衣装を揃えたことで、地域行事や各種イベントで伝統芸能の披露ができた。 しかし今後は、伝統芸能継承団体への補助ではなく、組織化や活動の活性化に向けたリーダー研修を実施する必要があると考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成24年度は、新たに組織化した伝統芸能継承団体はなく、既存で活動している伝統芸能継承団体への補助となった。 また、組織化はされているが活動が低迷している伝統芸能継承団体からも、補助の申請がなかった。</p>	<p>伝統芸能継承団体の組織化や活動の活性化には、団体のリーダーとなる人材の育成が必要であると考えます。</p>
今後の取り組み方針		
<p>リーダー研修会等を実施し、青年会・女性会の組織化に取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	177	177	142	35	
<pre> graph LR A[南風原町 177千円] --> B[補助金 177千円] B --> C[喜屋武青年会 57千円] B --> D[照屋青年会 61千円] B --> E[神里女性会 59千円] C --- C1[宿泊研修に係る経費の補助] D --- D1[衣装に係る経費の補助] E --- E1[衣装及び備品に係る経費の補助] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助先は、地域で伝統芸能を継承しながら活動している青年会、女性会であるため妥当であったと考える。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものであるかなど額の確定時において支出等の関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②-i	平和・文化交流で育む青少年育成事業（子ども平和学習交流事業）	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア			
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進		
事業内容	<p>平和な社会構築を図るため、町内の小学6年生を対象に戦争、平和、人権、差別などについて事前学習を重ね、県外（広島、大阪、京都）へ3泊4日の日程で研修や交流をする。新しく出会う仲間と一緒に協力し、勉強したことをまとめて報告する事、自分の意見を持つことを学び、社会のさまざまな状況について歴史を通してながら学習する。報告会、報告書の作成、さらにOB会との交流を通して、持続的な学習をし自主的な活動ができるようにする。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,561				
		(b) 予算現額	1,561				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,561				
	B. 執行済額		1,451				
	うち交付金充当額		1,160				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		93.0%				
予算の状況の説明		生活保護児童が参加者に選ばれた場合は自己負担金もゼロという基準を作ったが、平成24年度は対象者がなかったためその分の残額と、旅費の残額があったが、当初の計画通り執行することができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	子ども平和学習交流事業参加者数（16人）	目標	（ 16人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	16人				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	町内の4小学校6年生を各学校から推薦していただき、合計16人が揃って、事前学習、本研修事後学習を予定通りに達成できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	子ども平和学習交流事業参加児童数（16人）	目標	（ 12人 ）	（ 16人 ）	（ ）	（ ）	（ 12人 ）
		実績		16人			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	参加した児童たちは、積極的に仲間意識を持って学習に取り組んだ。沖縄戦について、地元で起こったこと、広島原爆の被害と原爆製作について、またアジアでの戦争の様子などを学習し、視野を広めることができた。また平和学習では人権や差別についても学ぶため初めて知る「ハンセン病」や愛楽園についての歴史を通して人権問題について考える機会になった。					

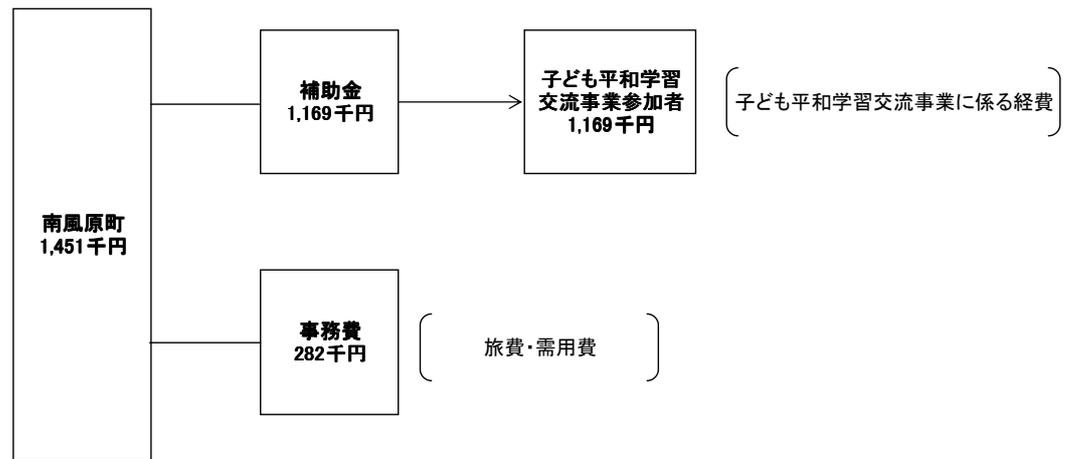
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○児童数16人はこれまでの事業の中では一番人数が多く、取り組みの課程で、移動手段、各個人への理解度の確認や配慮に行き渡らない点もあった。	○設定した目標16人を達成しているが、事業内容をより充実させるために、県外への移動、各研修地での行動を振り返ると人数的には例年通りの12人が適当ではないかという反省もある。 ○目標を参加人数にしているが、この事業の最大の成果を検証するのは、学習した事への理解度、その後の社会への気配り、心配りであると考えているが、目に見えにくい成果であるため、確固たる検証になりにくい。引率の努力も含め、さらに、内容の濃い事業に昇華させたいので、思い切り、人数を減らし、各学校から3人程度、合計12人で対応を考えている。 ○引率の中で、事業担当者と会計を分けて、移動しながらの指導等もスムーズに行くように改善したい。

今後の取り組み方針

事業の執行がスムーズにいくように適当な参加人数にするとともに、より内容を充実させられるようにしたい。OB会との関わりも積極的に機会を作り、一緒に持続する活動を補佐していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,451	1,451	1,160	291	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算配分で、自己負担金分より多くの残額が出た。事業実施のために必要な予算使途をもう少し検討し、無理のない配分をしたい。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②-ii 平和・文化交流で育む青少年育成事業（ii 第4回町民劇場公演事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ			
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	青少年の地域文化や共同体への意識の高揚を促し、新しい仲間と共にあらゆる表現を通して地域の連帯を図るため、町民劇場を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,600				
		(b) 予算現額	1,600				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,600				
	B. 執行済額		1,600				
	うち交付金充当額		1,280				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	町民劇場の開催（2回）	目標	（ 2回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	2回				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	○脚本作り、人集め、稽古等多くの時間を割き多くの町民が関わって事業展開できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	町民劇場集客数（900人）	目標	（ - ）	（ 900人 ）	（ ）	（ ）	（ 2,000人 ）
		実績		950人			
	町民劇場への参加町民数（70人）	目標	（ - ）	（ 70人 ）	（ ）	（ ）	（ 70人 ）
		実績		70人			
	進捗状況説明	○脚本製作、参加町民を募り、配役、稽古などの行程で、それぞれの良きタレントを発揮しながら、仕上げる事ができた。人材の発掘として重要な事業であった。町民劇場を通して、地域に関わり、地域について考え、今後の展望となるように、特に若者たちにはとてもいい機会となった。					

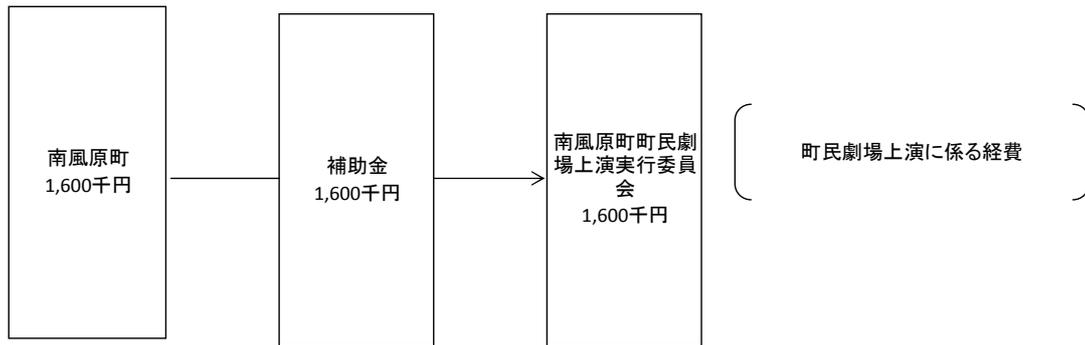
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○町民劇場の人集めは大切なポイントになる。劇の内容を大まかに定め、必要な人たちを必要だけ募集し、稽古に入る。参加しない人も興味を持って見学に訪れ、町民劇を広く知らしめた。</p> <p>○夜遅くまでの稽古に差し入れや、応援の若い町民が集まり、一緒になって、テーマである「むらや〜」(地域の自治会・集会所・公民館)について考える機会になった。</p>	<p>○今回の町民劇場は、寄付金や広告を集めずに実施した。実行委員会では、できるだけ多くの町民に関わらせるためには、そういう取り組みも必要ではないかという声があった。検討したい。</p>

今後の取り組み方針

○地域の課題を取り上げ、たくさんの町民が関わる町民劇場を、積極的な人たちと共に劇を作り上げていく過程を大切にしながら取り組める環境を整えていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,600	1,600	1,280	320	



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	予算規模、使途は適正であった。今回は広告料・寄付金は募らずに実施できた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②-iii 平和・文化交流で育む青少年育成事業（iii 伝統芸能保存育成補助金）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ			
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	町内の伝統芸能継承を推進するため、各字（あざ）・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に対し助成を行うもので、各字（あざ）・自治会の伝統芸能保存や継承への取組に必要な衣装・楽器・道具の購入や伝統芸能の獅子補修に対して補助金を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,700				
		(b) 予算現額	5,700				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,700				
	B. 執行済額		5,675				
	うち交付金充当額		4,540				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	伝統芸能保存育成補助件数（10件）	目標	（ 10件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	10件				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
実績							
達成状況説明	○町内の伝統芸能継承を推進するため、8字（あざ）・自治会へ、伝統芸能保存や継承への取組に必要な衣装・楽器・道具の購入や伝統芸能の獅子補修に対して10件の補助金交付を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）	
	年中行事等での伝統芸能上演等回数	目標	（ 55回 ）	（ 67回 ）	（ ）	（ ）	（ 68回 ）
		実績		67回			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
進捗状況説明	○伝統芸能の上演等される場である年中行事が復活（1行事）したこともあり、各字（あざ）・自治会への補助実施により伝統芸能上演等回数の増に繋がった。また、祭りや諸公演・発表会等へ、伝統芸能の衣装・楽器・道具が整い誇りを持って出演することができるようになった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○伝統芸能は年中行事で上演等され、不定期的に祭りや諸公演・発表会等への出演依頼により上演される。また、復活した演目が毎年上演されるとは限らない。</p> <p>○各字(あざ)・自治会は、祭りや諸公演・発表会等への出演依頼があった際には、積極的に出演している。</p>	<p>○各字(あざ)・自治会への祭りや諸公演・発表会等への出演案内の情報提供。</p> <p>○町主催の伝統芸能を活用した発表会等を開催する。</p>

今後の取り組み方針

○各字(あざ)・自治会への祭りや諸公演・発表会等への出演案内の積極的な情報提供。
 ○平成25年度も各字(あざ)・自治会への伝統芸能の保存や継承への取組(伝統芸能に必要な衣装・楽器・道具等の購入や道具の補修)に対し助成を行い、次年度以降は町主催の発表会等を開催し、町指定の無形民俗文化財を含め町の伝統芸能保存継承を推進していく予定である。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,675	5,675	4,540	1,135	

南風原町
5,675千円

補助金
5,675千円

1. 字本部区(700千円)・・・伝統芸能の獅子修復に係る補助
2. 字照屋区(496千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器、道具購入に係る補助
3. 字津嘉山区(563千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器、道具購入に係る補助
4. 字宮城区(509千円)・・・伝統芸能で使用する楽器、道具購入に係る補助
5. 字新川区(491千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器購入に係る補助
6. 字喜屋武区(478千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、道具購入に係る補助
7. 字照屋区(408千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器購入に係る補助
8. 字兼城区(509千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器、道具購入に係る補助
9. 字津嘉山区(1,021千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器、道具に係る補助
10. 字神里区(500千円)・・・伝統芸能で使用する衣装、楽器購入に係る補助

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は各字(あざ)・自治会の伝統芸能保存継承の取組に対して積極的であり、妥当である。 ○補助金の使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③ 戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(5)-イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決		
	担当部課名	総務部 住民環境課		事業実施(予定)年度	平成24年度		
事業内容			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)			
	<p>町で保管している戦災滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍(沖縄関係書類等)並びに戸籍受付帳の紙情報をデータ化することで沖縄特殊戸籍及び受附帳システムを導入して、現在運用している戸籍システムで検索及び証明発行ができるようにする。それにより、年金や相続等での住民の照会や申請に迅速に対応できる体制を整えることができる。更に、仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍並びに戸籍受附帳の紙原本の劣化、滅失を図り、バックアップデータ(磁気ディスク副本)を作成して震災にも耐えうる戸籍の情報体制を整備するため、これら沖縄関係戸籍書類等のデータ化の作業を委託により行う。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,040				
		(b) 予算現額	26,040				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	26,040				
	B. 執行済額		26,040				
	うち交付金充当額		20,832				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		*当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	沖縄関係戸籍の電算化の実施 対象仮戸籍申告書:約2,127戸籍(約27,800枚) 臨時戸籍:約2,126戸籍(約4,000枚) 福岡戸籍:約485戸籍(約2,600枚) 世帯簿:約2,102戸籍(約2,250枚) 受附帳:約5,550枚	目標	()	()	()	()	
		実績	沖縄関係戸籍の電算化の実施				
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	対象仮戸籍申告書:約2,127戸籍(約27,800枚) 臨時戸籍:約2,126戸籍(約4,000枚) 福岡戸籍:約485戸籍(約2,600枚) 世帯簿:約2,102戸籍(約2,250枚) 受附帳:約5,550枚の電算化を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	沖縄関係戸籍の電算化率:100%	目標	(0%)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	沖縄戦において戦災滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍、世帯簿(沖縄関係書類等)並びに戸籍受附帳の紙情報をデータ化することで、これまで戸籍訂正や相続等での住民の照会や申請に対し、手作業で検索し紙ベースで証明発行をして時間が掛かっていた業務が迅速かつ正確に行えるようになった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<ul style="list-style-type: none"> ・本籍、筆頭者、構成員での検索が可能となり、証明発行まで対応可能とした。 ・劣化の激しい簿冊を過不足なく複写した。 ・戸籍の知識やノウハウを有した作業員による複数回入力と照合により正確なデータ作成をした。 ・不明な点は疑義照会し作業した。 以上により、留意点はなしとした。	平成24年度完了のため特になし。

今後の取り組み方針

平成24年度完了のため特になし。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,040	26,040	20,832	5,208	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は戸籍電算化事業と同様の作業設備・専門人員を備えた業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界との交流ネットワークの形成 Ⅲ-3-(7)		
事業内容	沖縄の移民の歴史をたどり、文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化を学習させこれからの交流の架け橋になってもらう。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（交付金）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,500				
		(b) 予算現額	1,500				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,500				
	B. 執行済額		1,496				
	うち交付金充当額		1,196				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	受け入れ国の数（1国アルゼンチン）	目標	（ 1国 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	1国				
	受け入れ研修生の数（2人）	目標	（ 2人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	2人				
達成状況説明	○海外移住者子弟は、数カ国のバランスと、各国町人会と調整し計画しているが、平成24年度は予定通りアルゼンチンより2人を招くことができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	受け入れ国の数（1国アルゼンチン）	目標	（ 1国 ）	（ 1国 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		1国			
	受け入れ研修生の数（2人）	目標	（ 2人 ）	（ 2人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		2人			
	進捗状況説明	○新規事業の「青年海外派遣事業」と連動させる形で推進していきたい。研修生は帰国後、自分の国の元研修生らと連絡を取り合い、事業の推進に協力をしてもらっている。 ○研修生たちは自国の紹介を町内の学校でするために、教材となる資料を持参し、学校支援コーディネーターを通して楽しい授業を実施でき各学校で喜ばれた。					

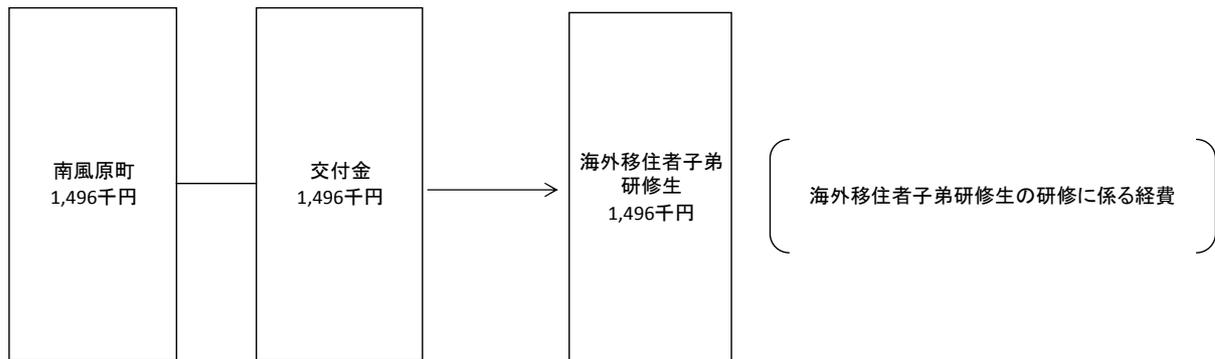
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○以前は親戚がホームステイ先として、研修生が滞在していたが、最近はレオパレスなどマンスリーマンション等を利用している。事業内容の推進や申請をはじめ町民や同世代の若者たちとの交流を考えると滞在先について検討の余地がある。	○研修生たちを積極的にいろいろな場で紹介し、多くの町民に存在を知ってもらう。学校や各種団体等にも関わりを持たせるよう工夫する。 ○同世代の若者たちと積極的に交流を持たせ、町内に限らず、県内の文化財めぐり、研修視察のために移動手段を活用し、また各地の情報を収集しながら広く学習する機会を作る。
	○滞在中もできるだけ積極的に町内の青年たちと交流したり、行事に参加することで、ネットワークを広めることができる。そのための情報収集、日程調整を密にする。	

今後の取り組み方針

○今後とも南米3カ国やハワイから、南風原町出身者の子弟を引き続き受け入れ、青年海外派遣事業とも連携し、これからの若者たちが自由に新しい交流の形を育てていくことで南風原町の国際化を広げ、また海外にいる南風原出身者との絆を深める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,496	1,496	1,196	300	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	△	支出先の選定方法は妥当か。	費目、使途については、適正であった。もう少しのびのびと研修に打ち込んでもらえるように配慮した費目を探したい。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南風原町

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑤	宮平獅子舞ハワイ公演事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				世界との交流ネットワークの形成
				Ⅲ-3-(7)

事業内容 青年達の伝統芸能に対する意識の向上と、文化交流の推進を目的に、戦争で失われハワイから送られた伝統芸能の一つである獅子舞と、現在まで継承された技をハワイへのお礼公演を実施する。今回は特別に、ハワイ沖繩連合会主催のフェスティバル30周年記念に合わせて企画されたもの。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	2,565				
	(b) 予算現額	2,565				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	2,565				
	B. 執行済額	2,565				
	うち交付金充当額	2,052				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	予算執行は適正であった。				

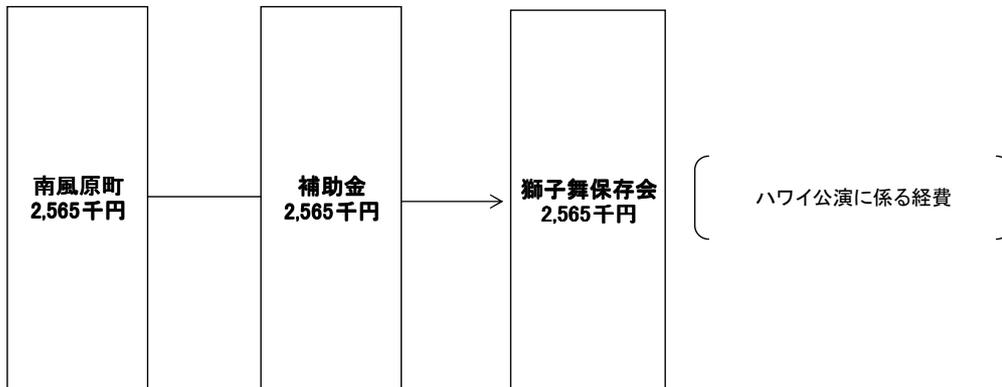
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
ハワイ公演参加者数(10人)	目標	(10人)	()	()	()
	実績	10人			
宮平獅子舞公演回数(4回)	目標	(4回)	()	()	()
	実績	4回			
達成状況説明	○目標通り、保存会から10人を選考し派遣。フェスティバルではハワイ沖繩連合会・ハワイ南風原クラブとも調整し予定通り4回の公演をすることができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			24年度			
ハワイ公演参加者数(10人)	目標	(-)	(10人)	()	()	()
	実績		10人			
宮平獅子舞公演回数(4回)	目標	(-)	(4回)	()	()	()
	実績		4回			
進捗状況説明	○ハワイ沖繩連合会やハワイの南風原クラブのメンバーと、伝統芸能である獅子舞を通して交流できたことは、地元宮平の青年たちにとって自分たちの取り組みに対する自信に繋がった。またハワイの人たちの沖繩の伝統文化に対する深い造詣と技能を磨く努力は大いに励みとなった。地元では既に継承されなくなった獅子舞の型のひとつの記録がハワイに残っており、今回それをお土産に持ち帰ることができたことは、型の復元と再演を期待できる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○ハワイ沖繩連合会主催の沖繩フェスティバル30周年記念事業への参加として取り組んだ。宮平の獅子舞がハワイとの歴史的つながりがあることから、ハワイ在住の町人会との交流も実りあるものとなった。	○今後伝統芸能の海外派遣は増加する可能性を鑑み、予算の組み方を、受け入れ側の状況、条件に配慮し、交流環境がスムーズに継続できるように考えるべきである。例えば、謝礼金の十分な確保、移動手段の確保と予算化、その他考えられる支払項目を確認して予算計上できるようにしたい。
	○伝統芸能としての獅子舞を継承する青年たちに、その活動の意義を見いだすうえでは充実した取り組みであった。	
	○今後の交流も含め、伝統芸能の継承と移民先との交流が、新しい形で充実していくものと期待できる。	
	○予算については、外国への派遣事業となるため、ドルへの換算の明確化、交流を目的とする上での予算の組み方に工夫を要した。	
今後の取り組み方針		
○他の自治会、あるいは伝統芸能等の派遣について、バランスよく、継承する若者たちにいい刺激になるよう配慮した形で充実させる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,565	2,565	2,052	513	



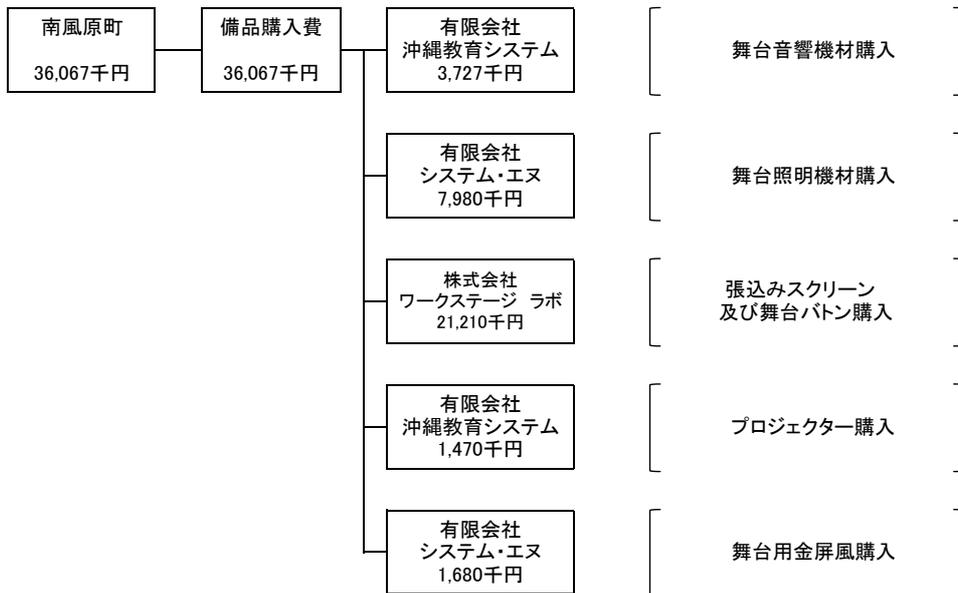
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○海外派遣の旅費については、その時期、その年によって流動的なので、予算確保は困難である。自己負担金、保存会、字負担のバランスを換算し適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑥	伝統文化交流施設活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げることを目的に、地域交流センターの施設設備を強化するため、付帯設備（音響・照明・スクリーン・舞台パトン・プロジェクター等）の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	37,756				
		(b) 予算現額	36,067				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,689				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	36,067				
	B. 執行済額		36,067				
	うち交付金充当額		28,853				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		入札により事業を実施した事による入札残。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・地域交流センターの舞台装置等整備（スクリーン、音響、照明等）	目標	（ 5件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	5件				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	音響設備、照明設備、張込みスクリーン、プロジェクター及び金屏風を購入整備した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・地域交流センターの舞台装置等整備（スクリーン、音響、照明等）	目標	（ ）	（ 5件 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		5件			
	【参考指標】 伝統文化交流イベント観客数	目標	（ 2,170人 ）	（ 2,850人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		3,270人			
	進捗状況説明	音響設備、照明設備等、舞台設備を充実したことにより、組踊や演劇にもより効果的な舞台演出ができるようになった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	舞台設備を充実したことにより、関係利用者も増えてきており、演じる側からは大変好評を得ている。観客数も増えているが、新たな要望も出てきており更なる関係設備の充実と併せて、今後は観客側の設備の充実が望まれている。	左記の状況から引き続き舞台設備の充実をはかるとともに、併せて観客側の設備充実もはかっていく。
	今後の取り組み方針	
上記の検証を踏まえ、平成25年度以降は観客側の設備であるテーブルやイスの整備を計り、また、引き続き演台や司会者台、紗幕等の舞台用設備の他関連設備としてのセンターカメラやモニター設備などの整備を計っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
36,067	36,067	28,853	7,214	



資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入先の決定については、指名競争入札を以て決定した。 ○その他の各項目とも妥当かつ適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7	安心・安全な学校づくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-イ		
	担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な循環型社会の構築 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	沖縄は離島県で規模も小さいことから産業廃棄物等における特殊物の処理が出来ないため、役場庁舎(地下倉庫)で保管している「蛍光灯安定器」と小学校で使用されていた低濃度(微量)PCB廃棄物の「高圧トランス」を県外で処理する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,318					
		(b) 予算現額	1,318					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	-					
		A. 計 (b+d)	1,318					
	B. 執行済額		1,163					
	うち交付金充当額		930					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		88.2%					
予算の状況の説明		計画していた事業内容は全て実施したため、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	低濃度微量PCB汚染物等の県外運搬 ①蛍光灯安定器 75個 ②高圧トランス 2台	目標	(①75個 ②2台)	()	()	()		
		実績	①75個 ②2台					
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	蛍光灯安定器75個、高圧トランス2台ともに県外処理のため運搬することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	低濃度微量PCB汚染物質保管量 蛍光灯安定器 H23: 75個→H24: 0個 高圧トランス H23: 2個→H24: 0個	目標	(安定器:75個 トランス:2個)	(安定器:0個 トランス:0 個)	()	()	()	
		実績		安定器:0個 トランス:0個				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	PCB汚染物処理の県外運搬を全て完了した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県外処理するさいの運搬用コンテナは、多くの事業所と共通で乗せることで金額が落ちるため、事業執行が遅れてしまった。	委託業者との連絡を密に行い、業務執行に遅れが出ないように取り組む。業務執行が遅れたので、もっと早い時期から事業を進める。
	今後の取り組み方針	
単年度の事業なので次年度以降の取組はなし。		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,163	1,163	930	233	
<pre> graph LR A[南風原町 1,163千円] -- 委託料 170千円 --> B[日本通運株式会社 170千円] A -- 委託料 993千円 --> C[日本通運株式会社 993千円] B --- D["安心・安全な学校づくり事業にかかる委託業務(蛍光灯安定器75個)"] C --- E["安心・安全な学校づくり事業にかかる委託業務(高圧トランス2台)"] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業者は町登録名簿から選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	